

# 森林の整備



## 木下沢渓谷冒険の森保全活動と環境教育

東京都八王子



## 事業概要

東京都八王子市裏高尾町にある木下沢下流域の森林を対象に、市民の憩いの場、レクリエーションの場、多くの生物が生息する場として利活用できる森林にしていくことを目的として、次のような活動を行っている。①歩道・遊歩道、ふれあい広場などの整備、②間伐、風倒木の処理・植樹などの森林整備、③裏高尾・木下沢渓谷連絡会議と連携した情報の共有、④自然とふれあい自然を知る行事の企画、提供、⑤イベント参加者による生物多様性に即した環境づくりの実施と学習。

## 事業成果

新しい拠点・整備エリアの周辺生物調査を継続して行い、認知向上に向けたガイドブックや生物図鑑、チェックリストを作成し配布した。この活動によって定期的に参加するメンバーのコミュニケーションは活性化し、イベント活動

の指導者や協力スタッフの担当制が機能するようになり、初回参加者や親子の満足度の高い植樹や間伐を含めたプログラムが実施できるようになった。結果、年12回の定例作業に加えて年3回の親子体験イベント、14回のプチ体験イベントを実施した。自然体験を希求する都市住民に開かれた活動をとという思いで、各種安全対策をした上でプログラムを展開できたことは大きな成果と考えている。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・普通では体験できないことができる。(リピート参加者)
- ・子どもを連れての参加ではあるが、もっと森の整備を試みたい。(リピート参加者)

## 参加者の声

- ・木を植えたのが楽しかった。(小学生)
- ・のこぎりでたくさん木を切れて面白かった。(小学生)
- ・木がドーンと倒れたのがすごかった。(小学生)



植樹



作業道整備



水生昆虫観察



生物図鑑

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積：0.15ha  
 植付本数：100本  
 下刈面積：0.2ha  
 除伐面積：0.4ha  
 間伐面積：0.4ha  
 作業道整備：400m  
 生物調査：8回  
 イベント：17回

## 参加者数

都内：315人  
 都外：50人  
 計：365人

## 樹種

イロハモミジ、オニグルミ、  
 ヤマグリ、ウワミズザクラ、  
 イタヤカエデ

## 富士山緑の募金の森造成事業

静岡県富士宮市



### 事業概要

平成8年9月の台風17号は、富士山南東斜面に風倒木など甚大な被害を与えた。本事業は、その被害箇所の復旧を目的に開始された事業であり、国土緑化推進機構が提唱する「国民参加の森林づくり活動」の場として、地域の森林ボランティア団体に呼びかけ、今日まで実行委員会方式で緑の募金中央事業として実施している。

### 事業成果

平成12年度より植栽したヒノキ人工林エリア(16.85ha)の

計画的な保育間伐(3.86ha)を、請負(富士森林組合)により令和4年度に引き続き実施した。また、植生調査などを継続するとともに、定期的に巡視などを実施した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・台風被害跡地への植栽開始から20年以上が経過し、ヒノキ林、広葉樹林ともに順調に生育しているものの、一部、シカによる森林被害が見られる。(ボランティア団体)



毎木調査



つる切り



下刈り後の清掃



灌木の除去作業

#### 実績とりまとめ

**作業内容**  
 間伐面積：3.86ha  
 保全巡視：3,100m  
**参加者数**  
 県内：53人  
 計：53人

## 和木町協働の森づくり事業

山口県和木町



### 事業概要

本事業は、「豊かで美しい森林づくり」と「地球環境の保全」を目的とする。和木町里山研究会が主体となって地元企業のENEOS(株)麻里布製油所の社員や家族、OB及び和木町、山口県の職員ボランティアと協働で和木町有林約1.3haの整備を2011年12月から継続している事業である。

### 事業成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により近年事業が進んでいなかったが、今年度は当感染症も収束傾向となったため予定どおりエネオスの森事業を実施した。ヤマモモ

林などの周辺雑木の伐採や草刈りを実施した結果、活力のある森林によみがえったと感じる。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・近年実施できていなかったが、久しぶりに当事業を実施できたことがよかった。継続して協働での森づくりを行い、活力ある森林を維持していければと思う。(50代職員)

### 参加者の声

- ・子どもにとっても森林に触れる機会が減ってきている中、当事業への参加は多角的に意義が大きい。(50代参加者)



作業のミーティング



ヤマモモ園の下刈り



クリの植樹



収穫したクリの仕分け

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈面積：2.6ha  
除伐面積：1.3ha

##### 参加者数

県内：70人  
計：70人

##### 樹種

クリ

# グリーンベイ OSAKA 森の維持管理とコミュニティ・フォレストリー活動

大阪府堺市



## 事業概要

本事業の目的は、これまで植樹した森のクズの被害を防ぎ、維持管理活動を行うこと、さらに、森の中で地域の人たちと森を楽しむこと（コミュニティフォレストリー活動）である。主な活動は、植樹会、草刈会、作業後にコミュニティフォレストリーイベント（森カフェレストラン）を実施した。

## 事業成果

草刈会を終えて、森の中で「森カフェレストラン」を開催した。過去に植樹会や草刈会に来た方々が友人などとともに、森を見渡しながら楽しく語らっている姿を幾度となく目にした。この日は、コミュニティの方々が主役になれた

日だった。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・この日は森の樹々に包まれながらの催しをゆっくり楽しむことができ感激。また、みんなで20年間育ててきた共生の森を今後どのように活用していくか、今回のイベントはとても参考になる先行事例と感じた。(NPO共生の森事務局長)

## 参加者の声

- ・グループのメンバーたちに参加を呼び掛けたとき、森の中でイベントがあると伝えると、いつもの反応と異なった。(植樹会・草刈会に参加のグリーンフロント堺代表者)



植樹箇所の土壌改良



植樹会



草刈会



森カフェで天王寺動物園のスタッフによる講演会「自然の循環について」

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：250㎡  
植付本数：140本  
下刈面積：0.2ha  
除伐面積：0.2ha

#### 参加者数

府内：168人  
府外：30人  
計：198人

#### 樹種

アラカシ、ウラジログシ、タブノキ、エゴノキ、クスノキほか

## トトロの森と狭山丘陵周辺緑地での里山保全

埼玉県所沢市



## 事業概要

生物多様性保全のため里山環境を再生させ、この活動を普及することで経済・人員の支援につなげ、持続的な里山管理を目指す。活動内容は、①里山管理ボランティア「何かし隊」、地域の協力団体などを中心とした里山管理作業。自立した活動を進めるための道具の購入や里山管理に必要な各種講習会の開催。②危険・支障木などを職員又は外部委託にて処理。発生材を市民に頒布。より自前での作業ができるよう、ツリークライミングによる伐採講習を職員が受講。③新たなボランティアとそのグループ確保のための当基金の活動の理解を目的とした普及啓発活動。④トラスト地全域のナラ枯れ状況調査と補虫トラップの設置、萌芽更新伐採作業及び萌芽更新伐採の効果測定のための毎木調査を実施。⑤新たに取得した森の生物調査。結果を元に管理方針・計画を作成。既存の森についても生物調査、管理による成果評価により管理方針・計画の変更を検討。生物調査に必要な機材の購入、調査技能向上の講習会に参加。

## 事業成果

継続的な普及啓発活動により新たに3か所のトトロの森が増え、会員数も維持できている。里山管理ボランティア団体「何かし隊」も41名増加。里山管理作業、ナラ枯れ対策についても、継続的な作業や調査により、将来的に一歩一歩若返った森づくりを進めることができている。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・貴重な狭山丘陵の自然を未来の子どもたちに手渡したい、と始まった活動は今年で34年目。今後も安全に森の手入れをする技術や自然を学びながら、森の魅力を多くの方に知っていただくことにも力を入れたい。(当基金理事)

## 参加者の声

- ・この一年、様々な活動をしてしっかりとトトロの森を管理されていることを実感し、これからも微力ながらトトロの森に関わりたい。(何かし隊10代女性)



「何かし隊」による竹林整備



事務局開催の応急手当普及講習



関係団体・ボランティアによる収穫祭



トトロの森ガイドツアー「トトロの森で虫を探そう!」

## 実績とりまとめ

## 作業内容

下刈面積：6.8ha  
 除伐面積：6.9ha  
 間伐面積：6.9ha  
 ゴミ拾い：0.7ha  
 生物調査：2.0ha  
 イベント：14回

## 参加者数

計：1,242人

## 渡良瀬川源流の荒廃地緑化事業

栃木県日光市足尾町



### 事業概要

銅山の煙害で荒廃した足尾の山々に木を植え、緑したたる森に還すとともに、自然環境を大切にすることを育むことを目的とする。主な活動は以下のとおり。①小学生などの体験植樹及びボランティア募集による植樹会の開催、②植樹後の下刈りなどの管理作業、③荒れている植樹予定地の地盤改良工事。当会スタッフで作業し、技術的・体力的に困難な場合は外部委託する。

### 事業成果

今年度は6,888人が参加し、1万2,920本の苗木を植えた。これまで28年間で22万人が29万3千本を植えた。植樹活動には栃木県内をはじめ多くの企業の参加が増え、助成による取り組みのPRにより、その後の管理作業への参加も得られるようになった。植樹は初めてという人も多中、木柵で階段状に整備し、黒土を入れる地盤改良整備を行ったことで、安全かつ円滑に植樹をすることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・栃木県が基盤整備した植樹地に、NPOが助成金を活用して地盤改良工事を行っているのは素晴らしいことだが、企業や県が植樹地整備、緑化事業を継続して行うことも重要である。二酸化炭素排出削減やカーボンオフセットが叫ばれている現在、さらに国や県が緑化事業にもっと予算を出して整備してほしい。(サポーター参加者 50代)

### 参加者の声

- ・毎年の行事として会社で来ている。少しずつ緑が増える山を見るのが楽しみ。(40代)
- ・数年前の木が大きく育っているのを見て感動した。一人一人の力は小さくても多くの人に参加することにより実を結ぶことを実感できた。(70代)
- ・毎年緑が濃くなる様子は勇気づけられる。体が続く限り参加したい。(80代)



久蔵口植樹地の木柵嵩上げ作業



黒土を久蔵口植樹地へバケツリレーで運び上げる



体験植樹 (植樹作業前に紙芝居を使って歴史や植え方を説明)



春の植樹デー (企業が参加)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：1.1ha  
 植付本数：1万2,920本  
 下刈面積：0.5ha  
 地盤整備面積：0.075ha  
 イベント：117回

#### 参加者数

県内：2,239人  
 県外：4,649人  
 計：6,888人

#### 樹種

コナラ、クヌギ

## 国民参加による災害に強いめぐりの森づくり

神奈川県横須賀市湘南国際村町



### 事業概要

三浦半島の中央に位置し、水源林として源流から支流の水質を保ち、トウキョウサンショウウオも生息していた神奈川県有地「湘南国際村めぐりの森」は、現在、バブル期に開発された跡地として荒廃しており、標高220～300mのなだらかな丘陵地帯でありながらススキやメドハギなどの河川の植生のような貧栄養な景観が続く。当該地にて2009年より神奈川県のコア事業として、植樹による土地本来の森の再生を実践する。

### 事業成果

当該地にて2009年より神奈川県のコア事業として、植樹による土地本来の森の再生を実践しており、本年度は、春と秋の定例植樹事業開催時の2日間と年間作業へ1,372名が来場し、1.6haへ4,000本の潜在自然植生種を植樹し、植樹累

計本数7万9,382本・2.32haの緑化につながった。また、当該地は、2024年9月に、環境省の「自然共生サイト」に認定され、国際的にも自然保護エリアとして認識された。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・ 建材を商品として扱うことから経済林を中心に展開しているが、生態系の維持のためには、土地本来の森の再生が不可欠であると実感している。実際に植樹作業を体験したことで人の手で森を再生することができる達成感が環境教育にもつながると思う。(植樹祭参加者)

### 参加者の声

- ・ いろいろな木々を植え、共生の森を築く大切さを教授いただいた。(60代)
- ・ 木の植え方を全く知らず、混植密植の植樹方法なども大変勉強になった。(30代)



植樹準備 (使用済粒上活性炭を搬入)



植樹準備 (苗木をミックスする作業)



植樹祭 (苗木の移動)



植樹祭 (植樹の様子)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：1.6ha  
植付本数：4,000本  
樹勢回復：500本

#### 参加者数

県内： 612人  
県外： 760人  
計： 1,372人

#### 樹種

土地本来の自生の樹種(シイ・タブ・カシ類等、25～40種)

## 丹波平松の森づくり

兵庫県宍粟市、丹波市



### 事業概要

住みよい丹波の住みよい地域で安全安心の森づくりのため、丹波市春日町平松区の森林愛好会と一体となり、ドングリ植樹を通して地域の交流を図り、魅力ある森づくりを推進する活動を実践する。

### 事業成果

今年も丹波市で植樹会を開催した。平松区森林愛好会による体験イベント（間伐作業の見学、粉碎体験・原木シイタケの植菌など）も開催され、株主との交流を深めることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

・新型コロナウイルスの影響も落ち着いて、コロナ前に近

い状態でのイベントが開催できた。そのおかげで、各イベントの参加人数も増加傾向にある。丹波市平松区森林愛好会のご協力により、下刈り、補植、伐採、整地、植樹がスムーズに実施できた。今後も協力し合い、会員増加を図っていきたい。

### 参加者の声

- ・ドングリ拾いはいろいろな自然とふれあいながら、子ども時代に戻り、無心にどんどん拾うことができ楽しかった。植樹会では、森林愛好会の皆様と一緒にカレーを作った。一緒に作ることで、丹波の森（平松区）の人々の温かさにふれることができ、心が洗われるように感じた。ドングリを通じて昔の日本の人々のふれあいを感じられた。



公園でドングリ拾い



下刈り作業



植樹地伐採・整備作業



植樹会

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：1ha  
植付本数：150本  
下刈面積：3ha  
ドングリ拾い、整地作業等

##### 参加者数

県内：190人  
計：190人

##### 樹種

クヌギ

## 玖珠町ふれあいの森づくり事業

大分県玖珠町



### 事業概要

本事業は、森林のもつ多面的機能をいかし災害に強い森林をつくること及び自然がもたらす豊かさを体験し、自然の大切さ・すばらしさを学ぶことを目的とする。活動内容は、企業ボランティア（ENEOS株）、地元緑の少年団の参加により、下刈り、枝打ち、花壇整備などを実施した。

### 事業成果

クヌギ、スギの木の枝打ちをボランティア活動で行い、災害に強い健全な森林に導くことができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・コロナ禍で活動ができなかった時期があったが、久しぶりに童話の森活動をけがや事故などもなく開催できたこ

とがうれしい。参加された方々も指導者の話をよく聞き活動されていた。「毎回参加してるよ」との声を聞き楽しみにしてくださってる方がいるんだと思った。今後、参加者が喜んで活動できるようなメニューを考えていきたい。（町役場職員）

### 参加者の声

- ・久しぶりに森林保全活動に参加することができた。天気にも恵まれ、よい汗をかいた。日頃使うことのないノコギリによるクヌギの枝打ちで、指導者からは枝打ちをする意味を教えていただいた。森林整備は、災害防止、荒廃防止、健全の山づくりのためと学んだ。シイタケの収穫も初めて体験をした。活動後に食べた昼食の猪汁が美味しかった。今後も参加したい。（ENEOS社員）



下刈り



花壇整備



クヌギ原木の伏込場整備



スギ枝打ち

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈り面積：3.08ha  
 原木起こし・伐採：120本  
 鹿ネット補修：40m  
 花壇整備：4か所  
 クヌギ枝打面積：0.40ha  
 スギ枝打本数：20本  
 シイタケ駒打：2,000駒

#### 参加者数

県内：46人  
 県外：20人  
 計：66人

## 湯河原で進める企業の森づくり体験活動事業

神奈川県湯河原町



### 事業概要

湯河原町の協力を得て進める(株)日本触媒・湯河原万葉の森は、下流には町の浄水場があり重要な水源林である。そのため、水源林として下層植生の豊かな水源涵養機能の高い森林づくりを目指すとともに、生物多様性など森林の様々な働きへの理解深める体験活動を行うものである。主な活動は、間伐、水源整備、自然観察会など。また、この事業は企業のCSR活動を行うために、企業の要望に沿う形で活動内容などを計画している。

### 事業成果

以前に駒打ちした、シイタケのホダ木も6年以上が経過したため、新たにシイタケの駒打ち、仮伏せを行い、今後の生育に期待をしている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・10周年記念事業を行い、開所記念に植栽した少花粉スギや2年目に植栽したクヌギ・コナラの成長に森の歩みを感じた。記念事業としてクヌギ、コナラの植栽地に、活動エリア内で芽生えた広葉樹の実生を苗畑に移して育てた苗を植栽した。成長を見守り、継続して苗畑で苗を育てて広葉樹林を目指す。また少花粉スギの2回目の枝打ち(梯子使用)や間伐を行う継続的森林整備活動と森の自然を楽しめるような企画を提案していきたい。(森林インストラクター)

### 参加者の声

- ・普段味わうことのできない活動ができて良かった。広葉樹の植林をしたが、自分が植えた木が立派になる姿を今後も見守っていきたい。貴重な体験をさせていただきありがたい。(日本触媒社員)



植樹後は防獣ネットを設置



原木の仮伏せ



間伐体験



10周年記念行事としてエコバックに葉っぱスタンプ

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.001ha  
 植付本数：23本  
 下刈面積：0.001ha  
 枝打面積：0.002ha  
 間伐面積：0.002ha  
 シイタケ駒打：1回  
 イベント：1回

#### 参加者数

計：102人

#### 樹種

ケヤキ

## 南足柄で進める企業の森づくり体験活動事業

神奈川県南足柄市



### 事業概要

緑の募金に協力する住友三井オートサービス(株)の森づくり体験活動が円滑に推進し充実した成果を上げるため、当財団の森林づくり活動に係わる蓄積したノウハウをいかし、活動計画の作成、それに基づく森林整備や環境整備、森づくり活動の指導などを行う。今年度は事務局によるベンチ作りと社員が集まり林内整備や間伐作業を行った。

### 事業成果

令和6年4月より新入社員の研修として、活動に参加してもらうことになった。活動内容は、CO<sub>2</sub>吸収量の調査で、森の紹介、自社事業とからめた論理展開をすることで、自身の今後の仕事への関心も高めることができ、新入社員向けの最適なプログラムとして確立できた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・企業事務局や参加者からの希望を伺いながら、マンネリ化しないように活動を提案し、当日に安全かつ作業を進めながらも楽しんでいただけるよう事前準備を行った。活動当日はなぜこの作業をするのかをもう少し説明した方が良かったのではないかと思います、今後はその点も考慮しながら進めたい。また全体のエリアをどうしていきたいのかを森林所有者の意向も踏まえ、財団や企業事務局とも今一度確認して、活動内容を提案していきたい。(森林インストラクター)

### 参加者の声

- ・滑車を利用して木を倒すことが初めての体験であった。すごく貴重な体験になった。(SMAS社員)
- ・自分たちが測った部分だけで4tのCO<sub>2</sub>を吸収していることに驚いた。(SMAS社員)



下刈り作業



枝打ち作業



間伐作業



森林調査

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈り面積：0.02ha  
 枝打面積：0.04ha  
 間伐面積：0.01ha  
 森林資源活用：1回  
 シイタケ植菌：1回  
 林内整理：0.05ha  
 記念コースター作り：1回  
 森林調査：0.08ha  
 ベンチ作り：1基

#### 参加者数

計：172人

## さいたまの森林づくり支援事業

埼玉県越生町、ときがわ町、三芳町、小川町、桶川市、さいたま市、寄居町



### 事業概要

県内において森林ボランティア体験事業（植樹、間伐、下刈り）を実施する企業や学校などに対し、安全に活動できるよう支援・指導する。これにより地球温暖化防止のための森林整備が進み国民参加の森林づくり運動に寄与することを目的とする。

### 事業成果

今年度も、企業の森林ボランティア体験、学校などの体験学習の森林活動（植樹、間伐など）の支援・指導を実施した。温暖化による地球環境の変化により一層の森林整備が必要であることについて、参加者の理解が進んだ。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・都市部の企業がボランティア体験により森林整備活動を

行うことは、自然にふれあう機会が少なくなっている昨今、参加者が森林の機能や地球温暖化防止について考える良い機会である。また、小学生が自然の中で体を動かしながら森林作業を体験することは、森林の働きや自然の大切さに興味を持つきっかけとなったのではないかと思う。（緑化推進委員会関係者）

### 参加者の声

- ・斜面で木を植えるのは大変だったけれど、貴重な体験ができた。（小学生）
- ・植樹したヤマザクラに花が咲くのがとても楽しみ。（小学生）
- ・社会人になって初めて森づくり活動に参加し、大きな木を伐る体験ができた。森林を育てることを学ぶことができた。（参加者）



小学生の植樹体験



小学生の植樹体験



企業のボランティア体験（木の伐り方を学ぶ）



企業のボランティア体験（ロープを使って木を倒す）

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：1.6ha  
 植付本数：382本  
 下刈面積：1.0ha  
 除伐面積：4.4ha  
 間伐面積：14.44ha  
 森林調査：2.4ha  
 落葉掃き、コースター作り

#### 参加者数

県内：306人  
 県外：65人  
 計：371人

#### 樹種

ヤマザクラ、コナラ、ツバキ、ドウダンツツジ

# 多様性を高めるモデルフォレストづくり「フォレスト21さがみの森」

神奈川県相模原市



## 事業概要

森と人の関係を再構築し森づくりの輪を広げ、持続可能な社会の基盤となる生態系豊かな森をつくりながら、活用する事業の展開を目指す。本事業を市民参加によるモデルとして発信し、国内における放置人工林をはじめとした森林への関心離れへの解決に結びつけたい。主な活動は、①生物多様性や地域の環境に配慮した森づくり活動、災害に強い森づくりの推進、②健全な森づくりのための知識・技術のスキルアップ、③初心者や子ども向けの森林環境教育や、森林サービス産業の創出に向けた活動、④森林環境のなかで心身をリフレッシュできる活動など。

## 事業成果

「人工林の多様性を高める森づくり」を実践していくため、実生苗探し、ドングリの播種、ギャップ地への補植、ナラ

枯れ被害拡大防止のための防止テープ貼り作業、獣害対策ネットの設置、野生動物の継続的なモニタリングなどを行い、より多様性のある森林へと着実に進めることができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・様々な樹種で構成された森林へと着実に近づいている。ドローン・IT技術を使って上空からのモニタリングなども行って総合的に様相を確認できるとより良いのではないか。(自治体森林・林業技術担当者)

## 参加者の声

- ・大変明るく和やかな雰囲気の中、自然の中で作業するのはとても気持ち良かった。(東京都40代女性)
- ・丁寧な説明で新しいことを学べた。体力は結構必要な活動と認識した。(神奈川県20代男性)



中道補修



ナラ枯れ対策



クヌギ実生苗の育成



ヒノキ林での間伐作業

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.05ha  
 植付本数：100本  
 下刈面積：0.3ha  
 除伐面積：0.6ha  
 間伐面積：1ha  
 森林資源活用（朴葉焼き、キノコ作り、山野草試食体験）：6回  
 その他：獣害対策、ナラ枯れ対策、道づくり、枝打ち（ヒノキ）、小鳥の巣箱かけ、看板（道票）の修復、実生苗育成、危険枯死木伐倒処理・倒木処理

#### 参加者数

県内：127人  
 県外：133人  
 計：260人

#### 樹種

ミツマタ、ミツバツツジ

## 里山・里海協働育樹の森づくり事業

宮城県利府町、七ヶ浜町



### 事業概要

本事業では、コロナ禍後、一般親子や学校などの自然体験の促進を目指し、企業など多様な主体との協働により機能性の高い森づくりを行うことを目的とする。活動は、ENEOS(株)とともに整備活動を行うだけではなく、県内の親子や小学生、県外の中高生に対する自然体験イベントを開催した。また、地域ボランティアの充実を図るために、森づくり講習会を実施した。

### 事業成果

今年度から里山の整備だけではなく、東日本大震災で被災した海岸部の緑化を目的とした植樹活動に取り組み始めた。それに伴い参加者が楽しめる海岸エリアでのレクリエーションプログラムの充実も図ることができた。一方、里山ではこれまで悩まされ続けていたイノシシ対策として柵の大規模な整備が実施することができ、植えた苗木や甲虫養育溝などへの被害が軽減された。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・イノシシ対策の柵の設置で、これまで整備してきた森への被害が少しでも減ることを期待したい。(60代ボランティア)
- ・恵まれた天候の中で、参加者が自然体験活動を楽しそうに取り組んでくれてうれしかったが、来年以降、暑さ対策はこれまで以上に気をつけないといけないと感じた。(50代ボランティア)

### 参加者の声

- ・ノコギリを使って木を伐ったり、ネイチャークラフトをしたり普段学校ではできない体験ができて良かった。(小学生ボランティア女子)
- ・例年の里山での活動とはまた違う環境での活動は新鮮だった。七ヶ浜町の植樹地に関しては海岸清掃も含めて今後も継続して整備をしていきたい。(協力企業ボランティア男性)



「真夏の森づくり大会」企業ボランティアによる遊歩道整備(利府町菅谷宮城県有林)



小学生対象の丸太引き体験(利府町菅谷宮城県有林)



「七ヶ浜町表浜緑地植樹活動」企業ボランティアによる広葉樹植樹(七ヶ浜町町有林)



「七ヶ浜町表浜緑地植樹活動」標柱設置(七ヶ浜町町有林)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.4ha  
 植付本数：127本  
 樹勢回復：83本  
 下刈面積：1.5ha  
 除伐面積：0.6ha  
 間伐面積：0.6ha  
 森林資源活用：2回  
 クラフト体験：6回  
 遊歩道整備：55m  
 イベント：4回  
 ボランティア・チェーンソー研修、整備作業ほか

#### 参加者数

県内：334人  
 計：334人

#### 樹種

ソテツ、クランベリー、イタヤカエデ、アキグミ、イヌエンジュ

## 「ぜんどこMCJの森」づくり

長野県長野市



## 事業概要

目的は、長野市七二会岩草地区の小高い丘にある荒廃した森林を、当団体、近隣住民、(株)MCJとの協働により、北アルプスを一望できる「ぜんどこMCJの森」として再生し、森づくりを通して、森に学び、森で楽しむ場を提供し、里山の保全と地域社会への貢献をすることである。主な活動は以下のとおり。①森林整備活動（つる切り、歩道整備、森林整備作業）、②里山講座（記念植樹、MCJ関係者及び近隣住民に対する林業体験）、③森カフェ（森で焚き火をしながらコーヒーを飲む憩いの場の提供）。

## 事業成果

森林整備はほぼ計画通りに実施でき、キックオフにも多くの人に参加し、順調なスタートを切ることができた。コンピュータ関連企業の方々为本事業をサポートし、かつ、協働として林業にふれる機会が持てたことは、持続可能な社会への小さいが明るい希望と思える。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・(株)MCJさん、地元の方々の協力により長野市七二会の小高い丘を「ぜんどこMCJの森」として、森に学び、楽しみ、里山の保全と地域社会への貢献をと活動を始めた。作業を行った北側急斜面、山頂部、南側の荒れた畑の雑木に加え、これから東側急斜面、西側斜面の森林整備に取り組み、少しずつ憩いの場づくりを進めていきたい。(80代一般会員)

## 参加者の声

- ・大自然の中で行う作業は、とても気持ちが良い時間だった。自然・自らのためにもなるすばらしい時を過ごせた。(キックオフイベント30代男性)
- ・社員の環境教育につながるこの活動が、荒れた森の再生へと発展していくことを期待している。(キックオフイベント60代男性)



除伐作業



ウインチによる材搬出



キックオフでの記念植樹



MCJ参加者をつる切り

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付本数：4本  
下刈面積：0.5ha  
除伐面積：0.1ha  
伐採跡地整備：0.1ha  
歩道整備：70m  
森林資源活用（枝葉チップ、薪、製材・テーブル作製）：  
7回

キックオフ、森カフェ

## 参加者数

県内：162人  
県外：6人  
計：168人

## 樹種

オオヤマザクラ

# 「キリン千歳水源の森」整備の森づくり

北海道千歳市



## 事業概要

平成19(2007)年に北海道森林管理局石狩森林管理署管内国有林に設定された「キリン千歳水源の森(法人の森)」を整備するための活動として、枝打ち、つる切り、除伐作業を実施した。

## 事業成果

植栽木が大きくなり、除伐作業はかかり木になることが予想され、キリンビール社員によるノコギリでの作業は中止し、専門業者に委託した。結果、安全に除伐作業を実施することができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・森林整備は順調に行われた。(指導者・樹木医会会長)

## 参加者の声

- ・参加社員の中に初めて枝打ちを経験する者が何名かいたが、枝打ちの目的を理解し、初めての手鋸作業に真剣に取り組んでいた。
- ・森のしくみや、生息する動植物について詳しく解説いただいた。
- ・お子様向けの説明も、資料など非常に分かりやすかった。
- ・チェーンソーの伐倒作業の迫力と知る由もない知識を得ることができた。



枝打ち作業



除伐作業



森の観察会



参加したみなさん

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

枝打面積：0.06ha

除伐面積：0.04ha

#### 参加者数

道内：31人

計：31人

## 「安曇野エア・ウォーターの森」森林整備事業

長野県安曇野市



### 事業概要

安曇野市内での森林保全に貢献するために、市役所と森づくり協定を締結し、以下の事業を実施。①植栽、②下刈り・藪刈り、③伐採・搬出・地拵え。

### 事業成果

①前年実施した地拵えエリアに200本の植栽を実施し、森林の更新を促進。②これまで植えた苗木の生育を健やかなものとするため、苗木周りの雑草の刈り取りを行った。1年目植栽地：作業委託2回、本年度植栽地：作業委託1回、ボランティア作業：1回。③安曇野市の森林更新の計画のもと、対象地の伐採（笹藪の刈り取りなど）と地拵えを進め、次年度の植栽準備を行った。森づくりの循環をボランティア参加者に体感してもらうことができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・地元に縁の深い企業がその地域に根ざして企業の森に参画していることは、地域行政として誇りに思う。(自治体関係者)
- ・順調に生育しているミズナラを見ると、活動地に適した樹種を選択していることを実感できる。(林業士)

### 参加者の声

- ・回を重ねるごとに社内横断的な参加者があり、社内浸透の力を感じている。
- ・自分たちが植えた苗木がちゃんと大きく育っているのを見ると、早起きし汗をかいてよかったと思う。
- ・来年は500本の植栽。参加者を広げていけるようがんばりたい。



植栽



下刈り作業



下刈り後。順調に育つミズナラ



次年度の植栽のための地拵え

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：0.2ha  
 植付本数：200本  
 下刈面積：0.5ha  
 その他：皆伐0.25ha

##### 参加者数

県内：70人  
 県外：17人  
 計：87人

##### 樹種

ミズナラ

## 三草山ゼフィルスの森における防鹿柵設置

大阪府能勢町



### 事業概要

大阪府緑地環境保全地域に指定されている三草山ゼフィルスの森において、シカによる食害を受けた植生を回復させるため、3年かけて指定地域1448haのほぼ全域の周囲に防鹿柵を設置する。令和6年度は総延長距離約1,000mに金網フェンスを設置した。

### 事業成果

実施前に地元・近隣市町村の住民や周辺の活動団体などにも呼びかけ、シカによる食害の被害状況や現状を共有する説明会を実施し、設置作業への協力を求めた。計画作成時点から獣害対策の専門家による「設置ルート選定」「事前準備」「資材素材検討」などのアドバイスを受け、設置作業でも専門家の指導を受けてこれまで保全活動に携わったことがない一般の方にも参加いただいで施業することが

できた。今後は設置を予定している残りのエリアに対しても、同様の取り組みを行う。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・9月に資材の納品があってから半年ほどで約1,000mの防鹿柵設置を行うことができたのはすごいと感じる。これは、ボランティアの方々など携わってくださった多くの方のおかげで、感銘した。(三草山ゼフィルスの森保全検討会議会長)

### 参加者の声

- ・防鹿柵設置はもっと重労働だと思っていたが、用意されていた電動ドリルなどを活用して杭打ちなどを行えたため、楽しく作業ができた。完成イメージをあらかじめ詳細に共有しておいた方が、それぞれのレベル感を統一できるのではないかと感じた。(大防鹿柵設置大会参加者)



「三草山ゼフィルスの森」の将来を語る会



関大一中生徒による資材運搬



防鹿柵設置指導



大防鹿柵設置大会

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

説明会・設置ルート選定など  
防鹿柵延長：1,000m

##### 参加者数

府内：324人  
計：324人

# 「ぜんだこMCJの森」づくり

長野県長野市



## 事業概要

荒廃した森林を当団体、近隣住民、株式会社MCJとの協働により、北アルプスを一望できる森として再生し、森づくりをとおして、森に学び、森で楽しむ場を提供し、里山の保全と地域社会への貢献を目的とする。主な活動は以下のとおり。①森林整備活動、②里山講座(チェーンソー安全講習会、里山整備講習会)、③森カフェ(森で焚き火をしながらコーヒーを飲む憩いの場を提供)。

## 事業成果

つる切り作業は、危険木の高所に絡みついた「ラスボス」を特伐技術で会員が処理し、針葉樹伐採に取り掛かることができるようになった。山頂付近の危険木の処理及び広葉樹の択伐もほぼ完了し、見晴らしが確保でき、森カフェな

どのイベントエリアとして安全に活用できるようになった。荒廃農地の整備では、雑木や切り株、不法投棄ゴミや朽木の処理を進め、また作業道も整備したことで、作業は具体的な公園整備へと移行しつつある。チェーンソー安全講習会では多数の地域住民の参加があり、好評を得た。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・当初の荒れた状態から下草刈り、除伐、間伐が行われ、また山頂には北アルプスを望めるテーブルも設置され、憩いの場になりつつある。作業を安全第一で進め、一人の負傷者もないことは評価に値する。今後はさらに間伐を進め、伐採木の活用、広葉樹の植樹、遊歩道の整備、東屋建築などを計画的に行い、より多くの人達が訪れるような森になることを期待したい。(60代男性会員)

## 参加者の声

- ・研ぎ方をととても解りやすく説明していただいた。伐木実習ではチームプレイの重要さは勿論のこと、長い年月をかけて育まれている木々への感謝、根の状態、将来への想像力も大切なのだと勉強になった。(チェーンソー講習会：50代女性)



荒廃農地(藪払い後)



チェーンソー安全講習会



初めての火起こし体験



つる切り作業を特殊伐採技術で実施

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：5本  
 下刈面積：0.5ha  
 除伐面積：0.1ha  
 荒廃農地整備：0.1ha  
 作業道整備：50m  
 森林資源活用：枝葉チップ化、  
 製材・テーブル作製  
 その他：里山講座、森カフェ

#### 参加者数

県内：180人  
 計：180人

#### 樹種

オオヤマザクラ

## 日本曹達グループの森づくり事業

新潟県上越市



### 事業概要

日本曹達グループが起業してから100年を迎えることから、起業の地である新潟県上越地域の「くわどり市民の森」内で、地域に貢献するため、新潟県民・上越市民に親しまれる森づくりを実施する。本年度は、森林整備（除伐、下刈り）と植樹（モミジ、ウワミズザクラ）を実施した。

### 事業成果

モミジとウワミズザクラの植樹、森林整備（下刈りと除

伐）と観察スポット3か所の整備を実施した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・上越市や公園指定管理者からの要請に応え、植樹した木の保育、森林整備を推進することができ、とてもありがたい。

### 参加者の声

- ・技術や経験を通じて地域に貢献できてありがたい。（日本曹達グループの森づくり推進協議会の構成員）



下刈り



除伐後



作業状況（土砂運搬・移動）



作業状況（ウッドチップ数詰）

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.02ha  
 植付本数：111本  
 下刈面積：0.3ha  
 除伐面積：1.6ha

#### 樹種

モミジ、ウワミズザクラ

## 「大阪府ENEOS友好の森」森林整備事業

大阪府太子町



### 事業概要

手入れが行き届いていなかった私有林（スギ・ヒノキ）の間伐作業を行う。その際、専門家の指導を受け、安全面に留意しながらENEOS(株)社員が協力し合い、間伐の方法、道具の扱い方を覚える。また、森林を手入れする意義を学び、同時に子ども向けに間伐材を用いた木工教室で、地域の健全な森林の育成の意義を学んでもらう。

### 事業成果

意識して国産材を消費することが、日本の山を健全に保つことにつながるという意識を持っていただけた。子どもたちへも、木工体験を通じて国産材を意識して使うことが重要であることを伝えることができたと感じている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・前回の開催より1年半ぶりの開催であったが、事故・けがなども無く、間伐体験、木工体験の方々それぞれ良い体験になったと思う。(40代指導員)

### 参加者の声

- ・貴重な体験ができた。天気も良く心地よかった。
- ・間伐作業は非常に良い経験となった。木工教室に参加した妻・息子も大満足だった。
- ・間伐作業は初めてだったが、丁寧に教えていただきながらだったので楽しく、勉強になった。
- ・3歳児と一緒に参加。初めての金づちで可愛いウサギの貯金箱が作成できて子どももとても満足している。



伐倒木にロープ掛け



間伐体験



玉切り作業



家族で木工体験

#### 実績とりまとめ

**作業内容**  
間伐面積：0.1ha

**参加者数**  
府内：140人  
計：140人

## 山武市蓮沼殿下海岸林の植栽事業

千葉県山武市



### 事業概要

津波被害によって失われた海岸林の機能回復を目指し、伊藤忠丸紅鉄鋼(株)・東京ガス(株)及び市民ボランティアの連携・協力による植林を実施。また、植林の前に枯損木の伐採と敷均し、地拵えを行った。①植林:0.4haに4,000本の植林。樹種は千葉県指定の抵抗性クロマツ。②枯損木伐採、敷均し、地拵え:津波の塩害などにより立ち枯れてしまっている木々を伐採・破碎・敷均し、地拵えを行い、新しく植林ができる環境を整備。

### 事業成果

企業の環境配慮型サービスと連携した取り組みは、募金事業との親和性が高いものであり、昨今のSDGs、ESGといった企業のニーズに合致する。さらなる募金事業の発展が期待できる。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・2024年になってから全国各地で地震が発生している。海岸林の大切さの周知徹底が求められるなか、蓮沼での植林が継続されていることで、その一翼を担うと思う。さらなる継続を期待している。
- ・同じエリアで継続的に活動を続けていくことで、その経過が可視化できる。それが、森林ボランティアの良さだ。

### 参加者の声

- ・初めての参加だった。植林という言葉に壮大さを感じることができ、有意義なボランティアであった。(市民ボランティア)
- ・植林活動は非常に楽しく、あっという間の2,000本の植林であった。下刈りもぜひ参加させていただければと考えている。(企業担当者)
- ・スタッフの方々の支援で無事に植林活動が終了したことをうれしく思う。夏の下刈りも計画したい。(企業担当者)



植樹した抵抗性クロマツ



機械での地拵え



支柱を設置



植樹作業

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積: 0.4ha  
 植付本数: 4,000本  
 枯損木伐採、敷均し、地拵え:  
 0.4ha

##### 参加者数

県内: 52人  
 県外: 145人  
 計: 197人

##### 樹種

抵抗性クロマツ

## 東日本大震災の教訓を伝える桜の植樹

岩手県陸前高田市



### 事業概要

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、特に津波が襲った地域にいた多くの人びとの悔しい気持ちを後世に伝え、同じ悔しさを繰り返すことのないように、今回の津波の到達ラインをサクラなどの木々の植樹によって明らかにするとともに、今回の被災地ばかりでなく、全国に防災、減災について意識喚起することを目的とする。

### 事業成果

今年度も本事業を実施し、継続的な活動ができています。また、剪定の際に出る「枝」を利用し、草木染めのイベントを自主開催している。当団体の市内での認知度向上と地域住民との関係性づくりに役立つと思っている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・震災から13年が過ぎ、街並みも変わってきている。サク

ラは「ここより上に避難するんだ」という防災意識を再認識する目印となっている。土地の土の状態が悪く、何度もサクラが枯れたが、スタッフの皆さんの献身的なご努力によってやっと根付いてきた。1万7,000本のサクラが見守る優しい街ができることを楽しみにしている。(陸前高田市 植樹地地権者)

### 参加者の声

- ・しっかりと事前準備で、スムーズに植樹を楽しむことができた。
- ・仙台出身で震災を体験。毎年募金はしているが、サクラの植樹は初めてであった。皆さまの説明と適宜あるサポート、事前の動画でやり甲斐のある活動であった。
- ・黙祷で気持ちを寄せ、貴重なお話もたくさん伺い、毎回、宝物の時間を過ごさせていただいている。



苗木にシカによる食害除けのネットを付ける



地元小学生を対象に植樹会を実施



サクラのメンテナンス(剪定)



津波到達地点に咲くサクラ

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：132本  
樹勢回復：2,252本  
除伐本数：10本

#### 参加者数

県内：36人  
県外：948人  
計：984人

#### 樹種

エドヒガン、オオヤマザクラ、ベニシダレ、カワツザクラ、シキザクラ

## 3.11 復活の森づくり～千葉県一宮町東浪見海岸林再生事業(下草刈り)

千葉県一宮町



### 事業概要

オリンピック終了後の海岸林造成の早期達成のため、2022年4月に植栽したエリア、8m四方の竹箆・150区画、0.96haに植栽した7,350本の苗木を対象に下刈りを実施した。委託作業として、海岸林所有者の千葉県の森づくり計画に応じて2度刈り（6月中旬に1回、8月下旬に1回）をし、下草の成長が著しいエリア38区画については、7月下旬に1回追加した。竹箆外周の下刈りも実施した。下刈りの総面積は約2.16haで、そのうち企業協働であるリコーリース(株)とは、約0.13ha(20区画)を対象に下刈りを実施した。

### 事業成果

盛土した土壌の状況をかながみながら下刈りを実施したことで、雑草と苗木の生長の競争をコントロールすることができている。小まめな観察が必要であるが、苗木の成長

度合いを円滑に高めることができた。また、協働企業からのボランティア参加があり、労力提供も加わったことで、企業社員・家族の緑化への理解や参加意欲がより深まった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・苗木の生育状況は順調だと思われる。(千葉県北部林業事務所担当者)
- ・丁寧に植え付けているので、下刈り(保育)作業も丁寧に行うことで、海岸林の公益的機能の向上につながっていく。(森林作業実施専門会社)

### 参加者の声

- ・猛暑の中の作業であったが、事故もなく無事に終わることができた。参加者からも前向きな発言が多く、来年も開催の方向で検討したい。(協働企業担当者)



鎌を使って丁寧に刈る



下刈りの様子



下刈り前(釣ヶ崎海岸)



下刈り後(釣ヶ崎海岸)

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈面積：2.16ha

##### 参加者数

計：58人

## 3.11 復活の森づくり～千葉県山武市蓮沼殿下海岸林再生事業(下草刈り)

千葉県山武市



### 事業概要

津波被害によって失われた海岸林の機能回復を目指し、地元と都市の住民、企業ボランティア(伊藤忠丸紅鉄鋼(株)・東京ガス(株))との連携・協力による市民参加型の森林整備事業を行った。活動は、千葉県山武市蓮沼殿下海岸防災林における津波被害林の再生として、以下2つのエリア、合計23haを対象に下刈りを2回実施した。

エリア1：2011年から15年計画で進めており、2024年で13年目。2022年春の植林で新規植林を終え、2026年まで下刈りなどの保育を継続(1.5ha)。

エリア2：2023-2024年春に植林を実施。面積は0.8ha。

### 事業成果

2023年植林地については、平均20cmくらいの成長。苗木の活着は、8割から9割であった。2024年植林地について

も、8割から9割の活着。一部、滞水が見られた場所の枯れが発生。苗木の成長はあまり見受けられない。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・植えたクロマツは順調に育っており、順調な進捗である。一部、雨水の抜けが悪い区域があり苗の根腐れの原因となり枯れているが、全体で見れば大きなダメージとなっていない。経過観察が必要である。(林業事業体)

### 参加者の声

- ・参加者全員、本当に有意義で楽しい時間を過ごしたと言っていた。社内の数名が家族で次は参加したいと言ってくれた。(企業担当者)
- ・1年前に自分たちが植えた苗木が育っていているのを見られたのも非常にうれしかった。(企業担当者)



下草に負けじと育つクロマツ



下刈り中



下刈り後



みんなで守る海岸防災林

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈り面積：4.6ha

##### 参加者数

県内：254人

県外：117人

計：371人

## 「岩沼・荒浜潮除須賀松の森」保育事業

宮城県岩沼市、仙台市



## 事業概要

東日本大震災により壊滅的な被害を受けた仙台市沿岸域の海岸防災林の再生に向けて、地域住民などとの協働により保育活動を行いながら、失った「みどり」の重要性やその働きなどへの理解と関心を深めてもらう。そして、海岸防災林再生に対する気運の醸成と、「みどりの文化」の普及啓発を図る。

## 事業成果

子どもたちや生徒、企業の参加を促すことに力を置いた。子どもたちが、夢中になって楽しそうに草取りやつる取りに励んでいた。活動に全面的に協力をいただいた団体が創意工夫を凝らして、被災地の自然環境の回復状況の観察や、ビーチコーミングなど体験学習を行ってくれたことで、引率教員からは「充実した活動」と評価を得、活動の継続の要望があった。高校生を対象に、手鋸による枝落としと本数調整伐を実施したところ、好評であった。

## 事業をよく知る関係者の声

- 子どもたちはマツの節を数え、その年月に思いを馳せて一生懸命に草を抜いていた。マツに「また来るから絶対大きくなるんだよ！」などと声を掛けている姿を見て、子どもたちと荒浜の防災林とのつながりが生まれたことを感じた。短い時間だったが、大きな意味のある時間になったと思う。実物に触れ、自分ごととして捉えることができた貴重な時間となった。(仙台市立小学校5学年担任)

## 参加者の声

- 雑草を抜く作業をして、クロマツは貴重なんだと思った。普通の植物は2~3か月で大きく育つけど、クロマツは何年もかかるので大切にしたい。(仙台市立小学生高学年)
- 2年前に植樹したマツは、大切に柵で囲まれており、順調に育っているように見えた。しかし、雑草の勢いも強く、特にクズが太い地下茎をびっしりと張り巡らしているのに驚いた。(30代女性)



高校生を対象とした「次代を担う青少年の海岸防災林保育活動」



小学生を対象とした「次代を担う子ども達による海岸防災林保育活動」



みどりの少年団ほか対象とした「次代へつなげよう！親子・みどりの少年団の海岸防災林保育活動」



企業ほか対象とした「次代へつなげよう海岸防災林再生に向けた県民協働の保育活動」

## 実績とりまとめ

## 作業内容

保育活動：約3.40ha  
その他：海岸防災林周辺地域の自然環境観察ほか

## 参加者数

県内：121人  
計：121人

## 森の笠地蔵プロジェクト2023

岩手県遠野市



### 事業概要

間伐材の薪利用の普及拡大と、薪を自力で調達するのが困難となっている一人暮らしの高齢者の支援を目的とする。主な活動は以下のとおり。①森林ボランティアと間伐・造材・集材・搬出・薪作り及び薪棚整備、②自力で薪調達困難な高齢者の調査（遠野市社会福祉協議会と協力して行う）、③自力で薪調達困難な高齢者の家に薪を無料で配達、④ひきこもり者を調査し薪作りの活動へ参加を促す、⑤マスコミやインターネットで情報発信。

### 事業成果

本事業を継続することで、確実に間伐のボランティアや薪作りに参加する市民が増えてきている。ひきこもりの状態にある方やその家族も薪作りに定期的に参加するようになり、薪作りの活動以外にも森林の観察会などにも参加できるようになった。数は少ないが薪作りを通じて、福祉分

野での貢献が確実に進んでいる。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・スギの間伐材の有効利用策として薪作りを行い、高齢者宅に届けているが、薪ストーブユーザーの中には、スギの薪は火持が悪いからいらぬという人もいる。今後は、広葉樹の森も手入れをして、間伐が必要な山では間伐を行い、薪に加工することも検討してはどうか。（森林組合職員）

### 参加者の声

- ・間伐の体験と、間伐材の薪割りを体験させてもらい、間伐の大切さや環境を守る意味を学ぶことができた。（中学2年生 男子）
- ・家にじっとしているより、山で間伐したり、薪割りした方が健康にいいので、これからも参加したい。（60代女性）



間伐体験



造材した材をポータブルウインチで集材



薪作り



高齢者宅へ薪を運搬

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐面積：30ha  
 森林資源活用（薪作り）：12回  
 薪配達：23回  
 （軽トラック48台分）

#### 参加者数

県内：812人  
 県外：2人  
 計：814人

## 北上川の上下流を結ぶ緑の再生活動

宮城県八幡平市



### 事業概要

目的は、旧松尾鉦山跡地における緑の再生を目指し、かつて植樹した苗を定着させ、次の樹種への遷移を促すための育樹を行うこと。主な活動は以下のとおり。①2008年度及び2014年度、2017年度に植えた苗（アキグミなど）の剪定、追肥、枯損苗（ナナカマド、ハウチワカエデなど）に対する補植（ミズナラ）を実施する。②団体参加の高校生に事前学習として森林の役割やその保全の意義について伝え、活動協力への意欲を高める。

### 事業成果

全360区を対象に、ミズナラ343本の補植、過去に植えた

約1,200本の剪定や追肥作業を延べ427人で実施した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・団体参加者は、植樹後の苗木の成長に手応えを感じており、新たに植樹をして緑の再生の範囲を広げたい、と意見が出た。自然回復を期待していたが、ススキ原の跡地において引き続き植樹活動を実施したい。

### 参加者の声

- ・団体参加の高校教諭から、緑の再生には植樹だけでなく、育樹活動も大切であることや近隣で実施した過去の実績も踏まえ体験学習できることが良いと評価をいただいた。



育樹活動の様子



バーク堆肥で土壌改良



補植苗



下刈りと標識杭立て

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：0.36ha  
 植付本数：343本  
 樹勢回復：1,260本  
 下刈面積：0.32ha  
 その他：現地打合せ、事前学習会、協議会会合ほか

##### 参加者数

県内：155人  
 県外：552人  
 計：707人

##### 樹種

ミズナラ

## 女川町出島の美しい森づくり事業

宮城県牡鹿郡女川町



### 事業概要

2011年の東日本大震災以後、極端な人口減少により荒れてしまった女川町出島の里山を整備し、島本来の美しさを回復させることを目的とする。2024年12月に本土との架橋が開通したため、島随一の観光スポットとなる可能性の高い出島配石遺構(通称出島ストーンサークル)周辺のスギ林の倒木処理や間伐を行った。

### 事業成果

出島配石遺構周辺の整備についてはボランティアによる草刈りなどを2019年11月から実施していたものの、周辺のスギ林は手付かず状態であった。2023年7月から緑の募金の助成を受けて林業関連資材などの購入や森林整備の研修を受けることができるようになり、本格的な森林の整備を

進めることが可能となった。危険を伴う作業が多いため、参加ボランティアは限られたネットワークで募集していたが、そのネットワークが徐々に広がっている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・出島ストーンサークル周辺の景観が良くなり、来島者に自慢できる場所になった。これからも整備の範囲を広げていって、島全体をもっと美しい島にしたい。(行政区長)

### 参加者の声

- ・チェーンソーで木を伐倒したいと思っていたが、それが実現できてうれしい。そして、この活動が環境保護につながっていると思うと、やりがいが増す。(参加ボランティア)



伐倒と森づくりの講習会



スギの枝払い



歩道整備



出島大橋を後ろに集合写真

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：1本  
 下刈面積：1.0ha  
 除伐面積：1.0ha  
 間伐面積：1.0ha  
 チェーンソー研修：2日間  
 ロープワーク研修

#### 参加者数

県内：84人  
 計：84人

#### 樹種

ハナモモ

## 平地の杜づくり ～被災した集落跡地を美しい場所へ

宮城県石巻市



### 事業概要

東日本大震災の津波被害にあった集落跡地を、地域共有の財産である里地里山へと再生することを目指した緑化活動やその推進、啓発を目的とする。主な活動は以下のとおり。①下刈り作業、②地拵え、③植樹、④杜づくりイベント、⑤月2回の杜づくり体験会、⑥種子や実生苗の山採りと育苗、⑦育苗エリアの整備、⑧竹林整備、⑨竹炭、もみ殻燻炭、焼き杭作り、⑩地域児童の杜づくり体験、⑪「環境×災害」企業研修などの受入れ。

### 事業成果

イベントには、全国各地から参加者があり、活動を応援する方々の広がりができてきた。災害により活用できない土地利用の新たな可能性として、自然環境を再生する取り組みは、他の被災自治体からも注目を得ており、視察者も多くあった。みどりを通した街づくり、災害復興、心の復興の一つのモデルケースとしての成果を確認できた。

### 事業をよく知る関係者の声

・毎日、目に入る思い出のある場所が荒地になっている様子は、気持ちが良いものではなかったが、広すぎて自分たちでもどうしても仕方がないと思っていた。少しずつ、植えた木が成長しきれいになって、人が集まる様子があることが何よりうれしく思う。今後も、自分もできることはやっていきたい。(地域住民70代女性)

### 参加者の声

・イベントには毎回参加している。土中環境改善が進んでいることは現場に行き歩いてみると感じることができる。昆虫や植物の種類もとても増えた。生物多様性の観点でも期待していて、今後も関わり続け、この先の変化も見て行きたい。イベントでは、初めに参加者同士の自己紹介などあるととっても横の交流も進んで良いと思う。(イベント参加者40代女性)



植樹作業の説明(平地の杜づくり施工会イベント)



植樹(平地の杜づくり施工会イベント)



タケを親子で切っている様子(地域の子ども向け杜づくり体験)



春以降は苗木置き、冬には炭焼きをする場を整備

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.3ha  
 植付本数：600本  
 下刈面積：1.4ha  
 地拵面積：0.5ha  
 森林資源活用  
 (竹炭・燻炭焼き)：7回  
 イベント(平地の杜づくり、  
 杜づくり体験会)：20回  
 育苗炭焼き場整備：9日  
 取水場整備：5日

#### 参加者数

県内：346人  
 県外：161人  
 計：507人

#### 樹種

コナラ、クヌギ、イチヨウ、トチノキ、ウリハダカエデほか

## 登山道、桜並木及びソメイヨシノ枯れ枝等整備作業

福島県喜多方市



### 事業概要

雄国山麓の自然保護・保全を図り、地域と連携し、資源を活用しながら地域の発展に寄与することを目的に、以下活動を実施。①登山道の整備：トレッキングの参加者が安全に楽しく歩けるよう、草刈り・倒木処理・階段を整備、②森林整備：訪れる人が安全に林内を散策できるよう、歩道の草刈り・倒木処理・除伐、③枯れ枝等の整備：来訪者の安全、樹木の保全のため、枯れ枝の切除、ソメイヨシノの維持のためサクラてんぐ巣病枝を除去、④枝垂れ桜並木の育樹：地域の観光資源、活性化策として育樹作業を実施。

### 事業成果

駒形地区から新たに2名の新会員を得た。森林整備などで採取したつるや球果を利用したリース作りを実施できたため、今後の新しいプログラムとして公民館活動などで提供する。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・駒形地区の方々から「地域外の人たちなのに皆さん良く頑張っている」と評価をいただいた。さらに、新たな会員が駒形地区から2名増えた。地域との連携を大切にしていき、雄国山麓ゆめクラブの設立に協力していこうと機運が出てきた。



登山道の整備



高所作業車を使用し枝払い



シダレザクラの剪定枝搬出作業



自然解説をしながら自然に親しみ保全活動の理解を深める(扇ヶ峰トレッキング)

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

樹勢回復：10本  
下刈面積：0.3ha  
除伐面積：0.3ha  
森林整備：8回  
森林資源活用：2回  
イベント：3回

##### 参加者数

県内：37人  
計：37人

## 阿武隈南部里山共生－活性化事業

福島県鮫川村



### 事業概要

福島県鮫川村葉貫地区は、高齢化が進み山林が荒れている現状である。県内外の参加者が山林の環境整備を進めることにより、山林も人も良好に共生できるよう持続可能な活動を広めていくことを目的とする。活動は以下のとおり。  
①間伐、②間伐した木を有効利用（薪、チップ）、③下刈り、④山林の環境で「ネイチャーゲーム」の実施、⑤松ぼっくりのクラフトなど。

### 事業成果

本事業により、山林整備の活動に拍車がかかった。子どもから大人までの幅広い年代の参加者が環境整備の実践を通して達成感を得られ、共通の活動ができたことで一体感が生まれていた。山林に入って整備活動やクラフトなど非日常の時間を共有することで、参加者自身がこの活動に関わったことへの感謝の気持ちと、メンタル面でリフレッシュができたことは大きな成果と受け止めている。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・首都圏の子どもたちが山林整備活動に関われる機会は、貴重な機会。山林の現状を見て、整備活動をした後に、みんなで力を合わせて作業をすると、辛い仕事でも乗り越えるパワーとなった。今回は非常に良かった。(首都圏NPO引率担当)

### 参加者の声

- ・みんなで協力して間伐した木を運び出す作業は、大変だったけど楽しくできた。またその間伐材を薪として活用でき、無駄のないことに気づいた。(高校2年男子)
- ・薪割りは始め難しかったけど、慣れてきてきれいに割れると気持ちも爽やかな気分になれて良かった。(小学5年男子)
- ・後ろを振り返るときれいな環境になって気持ちが良かった。(小学6年女子)



間伐した木で薪割りに挑戦



小学生による間伐材の搬出



山林の環境で「ネイチャーゲーム」の実施



看板の設置完了

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：1ha  
除伐面積：0.8ha  
間伐面積：1ha  
森林資源活用（薪割）：4回  
ネイチャーゲーム：1回

#### 参加者数

県内：117人  
県外：80人  
計：197人

## プロジェクトD（どんぐりプロジェクト）福島

福島県郡山市



### 事業概要

東日本大震災による津波で被災した森林を回復させるべく、日本環境協会が主催となって被災3県で採取したどんぐりを全国の方々に苗木まで育ててもらい、苗木を国有林などへ植樹する活動。本学は福島ふれあいの森で当初から協力していた縁があり、日本環境協会から郡山女子大学へ「プロジェクトD」を引き継いでいる。活動は、下刈り3回（小野自然倶楽部へ委託）、枝払い2回を実施している。

### 事業成果

以前、福島ふれあいの森の活動に参加したことがある沖電気工業株式会社の方から、日本環境協会を通じて活動に参加したい旨の要請があり、一緒に活動ができた。また、日本大学工学部の学生へ声を掛けたところ、4名の学生が参

加した。レポートの方々、新規の方々と人々が参加し、徐々に活動が広がりつつある。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・学内で枝払い活動の募集をして10名程度の参加に留まったが、リコージャパン福島支社、沖電気工業、日本大学工学部から協力を得られ、活動がスムーズに行うことができた。今後は、地球温暖化防止活動に興味のある団体に広く声を掛けたい。

### 参加者の声

- ・イベントがあれば声を掛けてほしい。（日本大学工学部）
- ・作業終了後に皆で食べたカレーが美味しかった。（附属高校生）
- ・暑くて大変だったけど、いい汗が流せた。（教職員）



作業方法の指導



枝払い作業



切った枝はチップパーで粉砕



下刈り後（小野自然倶楽部へ委託）

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈り面積：2.46ha

枝払い：2回

##### 参加者数

県内：32人

県外：2人

計：34人

## 間伐による森づくり

茨城県つくば市



### 事業概要

里山の林内の風通しや陽射しを良くし、樹木や下層植生の光合成が促されるよう整備を進め、多様性のある森づくりを目指す。主な活動は、下刈りや10%の間伐、倒木処理を実施。間伐材は搬出してチップボードとして活用する。

### 事業成果

里山林としての下刈り、間伐による森づくりは、参加者

延120名のボランティアの協力を得ることができた。間伐材は搬出してチップボードとして活用すべく企業と連携することができた。

### 参加者の声

- ・林間がきれいになって良かった。
- ・森が明るくなった。



下刈り



間伐



玉切り



搬出後はチップボードとして活用

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈り面積：2.2ha  
 除伐面積：0.3ha  
 間伐面積：1.6ha  
 森林資源活用：チップボード

#### 参加者数

県内：82人  
 県外：38人  
 計：120人

## 北本中央緑地 雑木林再生プロジェクト

埼玉県北本市



### 事業概要

高崎線沿いに残された雑木林を北本市が緑地公園として整備した「北本中央緑地」。この雑木林を再生し、さらに魅力あふれる緑地公園にするため、以下の活動を実施した。①老木・危険木の伐採、②散歩を楽しめるようサクラなどの苗木を植樹、③雑木林を囲むツツジなどの垣根の補充整備、④点在する雑木林に同じテイストの看板を設置し、一つの緑地ゾーンとして市民に分りやすく親しみがもてるようにした。

### 事業成果

看板・道標の設置は北本中央緑地のイメージアップに貢献し、初めて来た人でも分りやすく愛着を感じられるようになった。各林に設置した名前付きの看板は、各林のブラ

ンド化につながることや特徴をもった林にしていくためにも役に立つと思う。イベントの中で雑木林を巡るツアーなどにも大変有効になる。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・今後継続して雑木林の更新を図ることは大変重要。今回の植樹は中央緑地の再生のスタートになると期待している。(市の関係者)

### 参加者の声

- ・近くの雑木林での植樹会は大変記念になった。樹木プレートに自分で名前を入れたので愛着がわく。(小学生)
- ・サクラを植えたので長生きして見守りたい。(近隣に住むご高齢者)



植樹の説明(雑木林で楽しむ集い)



植樹(森林ボランティアの日)



落ち葉かき(中学生ボランティア)



サツキの生垣作り(中学生ボランティア)

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付本数：128本  
 落ち葉かき：2ha  
 イベント：5回  
 生垣補修

##### 参加者数

県内：219人  
 計：219人

##### 樹種

サツキ、ツツジ、コナラ、エドヒガン、ヤマザクラほか

## 継続的な森林管理と将来世代への木育の推進

千葉県山武市



### 事業概要

目的は、森林の減少・劣化を防ぐため、継続的に育林などの森林管理を進めながら、森林作業で発生する森林資源の利用・提供を通して子どもたちへの木育を進めていくことである。主な活動は以下のとおり。①雑木林やスギ林などで、下刈り・間伐などを実践、②間伐材を利用して地域の小学生などに対して木工授業など木育を実施、③間伐材による木工部材を他団体へ提供、④間伐や枝打ちで発生する木の枝をチップ化して福祉系NPOのブルーベリー園で活用。

### 事業成果

継続的に下刈り・間伐などを実践できていることが森林管理につながっている。また、当会で製作する木工部材が2024年10月に千葉市の幕張メッセで開催される県内最大級の環境イベント(エコメッセちば2024)で活用されることになり、さらなる広がりの可能性を確認した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・森林整備のフィールドを実際に利用して、保育・教育及び障害者への支援を進めることで、森林管理と木育との連携のステップアップにつながる。(60代 NPO勤務)
- ・伐採見学や木工授業などは子どもたちが地域の文化、森林の大切さを学ぶ重要な機会。保護者の行事と連携するなど子どもたちが参加しやすい工夫が必要。(小学校校長)

### 参加者の声

- ・スギやヒノキなど針葉樹のチップはブルーベリーの保温や保湿に非常に役立っており、間伐材の利用に少しは貢献できたのかなと思った。(40代女性)
- ・地域の木を使った工作や伐採見学の企画は子どもの教育に非常に良いと思った。(50代男性)
- ・伐採の難しさ、安全管理の重要性を改めて認識した。(60代男性)



間伐伐採指導



チップ作り



親子工作教室



幼稚園へ木工部材を贈呈

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：1ha  
間伐面積：0.5ha  
イベント：3回

#### 参加者数

県内：147人  
計：147人

## 広葉樹の植栽及び食害防止策設置事業

東京都八王子市



### 事業概要

目的は、広葉樹と針葉樹が混在する豊かな森に誘導するための森林整備。主な活動は、2024年春に240本を植樹するとともに、シカの食害対策としてツリーシェルターを設置。

### 事業成果

2024年春に、ツリーシェルターを施したことにより、植樹した苗木はシカの食害から守られている。2023年春の反省から地面との隙間から小動物が紛れ込むリスクがあるシカ柵は使用せず、ツリーシェルターについても、通気性の良いものを設置した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・ ツリーシェルターは苗木各1本に取り付ける必要がある。工数がかさむが、シカなどの食害から守るには有効と考えられる。

### 参加者の声

- ・ 植樹地は想像以上の急斜面で足元は小石が多い。足場を踏み固めないで立っているのもやっという状況だった。それでも必死に穴を掘り、イロハモミジやカエデなどの苗木を植え、ツリーシェルターを設置し、無事に植樹を完了でき、ホッとした思いだった。数年後、苗木が立派に育つ日を楽しみに下山した。



急傾斜での植樹作業



植樹風景遠景



1本1本にシカ食害避けのツリーシェルターを設置



植樹祭に参加した皆さん

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：0.2ha  
 植付本数：240本  
 下刈面積：0.2ha  
 その他：作業道整備、地拵

##### 参加者数

計：333人

##### 樹種

ヤマザクラ、イロハモミジ、コナラ、ケヤキ、ホオノキほか

## 森と街をつなげ地域のケア力を高めるPJ

三重県多気町



### 事業概要

目的は、ワークショップ・コミュニティ形成を通して地域住民が森林・空き家・健康の問題に関心を持ち、地域の課題解決のためのつながりをつくることや参加を促すことである。主な活動は以下のとおり。①森と福祉と街をつなぐ、コミュニティ（モバイル）足湯プロジェクト：自分たちで森を間伐し、その間伐材で地域住民が集まるきっかけとなる足湯を製作。②森と街と福祉をつなぐ集いの場プロジェクト：廃銭湯で集いの場を行い、街の景観と空家、森と健康について考えるきっかけをつくる。

### 事業成果

市内に二つしかなかった銭湯が廃業し、市内の人が集まる場が一つ減った。廃材が集まる銭湯での湯沸かしを店主

と相談していたが、叶わなくなってしまった。その代わりに、間伐材を使った足湯の計画を考え、廃銭湯を中心としたコミュニティの形成、足湯の施工を実施できた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・廃業した銭湯だが、木材を使った取り組みで、人々がまた集まってきてくれるのは大変うれしく、ありがたい。（60代女性・廃銭湯店主）
- ・松阪市内のみならず、全国の廃業した銭湯が木材の利用でコミュニティを保存することができる可能性のある活動である。（一般社団法人せんとうとまち）

### 参加者の声

- ・斜面での作業が多く、体力とコツのいる作業だった。
- ・木の香りがよく、人と話しやすい足湯だと感じた。



廃銭湯での足湯作成ワークショップと健康相談会



ボランティアと森の整備体験会（薪割り）



ボランティアと森の整備体験会（間伐）



間伐材で足湯を製作

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：200本  
 間伐面積：0.1ha  
 イベント：5回

##### 参加者数

県内：70人  
 計：70人

##### 樹種

ツバキ、サクラ、スギ

## 北浅川上流地区の森にホテルを飛ばそう！

東京都八王子市



### 事業概要

目的は、森林内の土壌改善を通じて沢を復活させ、森全体を健全化させるとともに、水源涵養機能を高めながら生物多様性の高い豊かな森を創出する。主な活動は、①沢水の流れを停滞させている箇所（枝や土砂）の除去、②沢周辺の法面で表土が流出しやすくなっている箇所に、枝葉を利用して小規模な土留めを施工、③炭や有機物を活用した土壌改善、④溝や穴を掘ることでの大地の呼吸口作り、⑤活動エリアの危険木などの伐採など。

### 事業成果

簡易作業道脇に溝を掘ったり、道沿い法面に土砂崩落を抑えるための点穴作りなどの造作を継続した結果、土砂の流出を大幅に抑えられ、長く雨が降らない時でも、わずか

ながら水が残り続ける場所なども現れ、以前は見られなかった水棲生物を確認できた。活動エリアも森林と沢の一つの流域として手入れを進めることができるようになった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・森林再生や生物多様性の創出のため、場当たりの生き物の放流をせず、根本的な要因を探り環境そのものを改善していこうという会の活動は日頃から高く評価している。森林荒廃という環境問題の本質をグローバルな視点で捉えた上で、常に実際に手を動かしその結果を観察しながら、ある意味悩みながら継続して実践していることがすばらしいと思う。（環境活動団体の方の声）

### 参加者の声

- ・昔に植樹し放置されたところも多く、そのことで環境劣化を引き起こしているという観念に気づけてびっくりした。そして、植えるわけでもなく地道な沢や斜面の土中の環境改善を施すことで、自然が今度は多様な植生になることはやりがいと希望が持てた。このような活動にふれ、実践する人が増えていくといいなと思う。活動して楽しいの不思議と自分の体も整うのが面白い。（30代女性、会社員）



急傾斜面での土留め造作



沢の河床改善のための石積み工法を講師より指導いただき実践



沢の泥詰まり箇所での泥の除去作業



柵作り。講師による指導風景

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈面積：0.2ha  
除伐面積：0.2ha

##### 参加者数

都内：60人  
都外：73人  
計：133人

## 都市近郊の新しい里山づくり

東京都八王子市



## 事業概要

里山と人の心身、その双方の回復及び継続的な健康維持を目的とし、都市近郊の管理不足の森林の更新と整備を行い、受け皿としての地域組織を構築した。初期の企業参加による活動形態から、地域住民のみの完全ボランティア活動形態へ移行して、今期で丸2年が経ったが、自主的な活動ができる状態になってきた。

## 事業成果

最大の成果は、地域住民参画型の活動形態への移行が、流れに乗り始めたこと。また、自然環境としては、継続的な竹林の整備やササ刈りにより、根茎の抑え込みに成功していることや除間伐などの整備で森林の健康回復、植栽による樹種転換と森林更新について引き続き進展している。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・暗く近寄り難い感じだった緑地が、整備することで明るくなり、散歩などで林内へ入りやすくなった。

- ・最近、子どもたちだけでも利用しているが、まだ少ない。近くの小中学校が積極的に活用した方が良いと思う。
- ・森の手入れをしている人は高齢者が多く、八王子には大学もあるので、若者がもっと参加できるようにしたらよい。

## 参加者の声

- ・竹藪に覆われていた所が、見違えるように明るくなり、作業中に散歩をする人から感謝の意を伝えられてうれしい気持ちになった。
- ・自分たちが苗床で育てた広葉樹が、植林の後しっかり活着してどんどん大きくなっているのが頼もしく感じている。
- ・告知について、市当局の協力を得て、若者の参加者が増えるとうれしい。



植樹に使用する支柱作り



7種類の樹種を植樹



植樹エリアの見学と草刈り



緑地整備

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付面積：0.4ha  
植付本数：210本  
森林資源活用：タケベンチ

## 参加者数

都内：420人  
都外：80人  
計：500人

## 樹種

オオシマザクラ、ヤマザクラ、ソメイヨシノ、イロハモミジ、コブシほか

## 一般市民による湘南海岸林整備事業

神奈川県藤沢市、茅ヶ崎市



### 事業概要

昭和初期から植栽が進められている湘南海岸林において維持管理をしている神奈川県藤沢土木事務所と連携を取り、海岸林の整備を目的として以下を実施。海岸林内のつる切り、下刈り、クロマツの植樹、枝打ち。

### 事業成果

3月23日に植林したエリア(国道134号茅ヶ崎市柳島交差点付近)は通行者や地域の目にも留まりやすい。苗の成長を見守りながら下刈りなど一から育林できる場所として引き続き活動を行っていきたい。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・毎回、遠くからたくさんの人に来ていただき作業をしてもらっているので、大変助かっている。作業を通じて県で管理している砂防林の役割を知ってもらえる機会になればうれしい。(神奈川県藤沢土木事務所)

### 参加者の声

- ・初めての植林だったが植え方も分かりやすく、アドバイスや励ましをいただきながらできたので楽しみながら活動することができた。(30代女性)
- ・砂防林がどのように管理され、維持されているのかを知ることができてとても良い経験になった。(50代男性)



作業説明風景。クロマツにつるが巻き付き、下草が繁茂している



つる切り



枝打ち



クロマツを植樹

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

植栽面積：0.5ha  
 植付本数：90本  
 下刈面積：2ha  
 その他：つる切り、枝打ち

##### 参加者数

県内：29人  
 県外：29人  
 計：58人

##### 樹種

クロマツ

## 富士山南麓の森林復元と環境教育活動

静岡県富士市



### 事業概要

静岡森林管理署との協定により、台風被害のあったヒノキ人工林を広葉樹天然林に復元する森林再生活動を行う。主な活動は次のとおり。①広葉樹林への遷移を進めるための適応的保育管理（協定林465ha）、自生する母樹から種子を採取～苗を育成し、多くの樹種を補植、②同時に自然での活動体験や富士山の自然を観察する機会を設けて生き物、生態系・森の成り立ちに関する知識を深め、環境教育の効果を合わせて実施。

### 事業成果

新しい企業などからの問い合わせもあり、関心の高さを実感している。毎年参加する学生は入れ替わっていくが、現地で取り組む貴重な体験をしてもらっている。卒業してから社会人ボランティアとして参加する方もあり、継続性と新規性が保っている。各主体の事情に合わせて参加してい

ただけるよう、今後も柔軟に対応して継続的な活動参加、協力関係を構築していきたい。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・学生を継続的に参加させるためには、学校での取り組みよりも外部団体による受け入れがあった方が取り組みやすい事情があるため、貴重な実体験をさせるために重要な活動になっている。（協力して活動を進めている東京農業大学の教員）。

### 参加者の声

- ・継続的に行われているNPOの活動に受け入れをってもらう形をとれているので、会社や各人の都合に合わせた参加が可能になっており、企画しやすい活動になっている。自分では得られない活動体験として、参加者の満足度が非常に高い活動ができている。（自主活動として参加している労働組合本部の担当者）



種子から育成した広葉樹を補植



種子の採取



採取した種子の調整作業風景



育成した苗を仮植え

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.2ha  
 植付本数：350本  
 下刈面積：0.5ha  
 自然観察会：5回  
 活動報告会：2回  
 その他：種子採取、種子の調整・育苗ほか

#### 参加者数

県内：7人  
 県外：192人  
 計：199人

#### 樹種

種子から育成した広葉樹15種

## みんなで集う多様で豊かな森づくり活動

東京都八王子市



### 事業概要

目的は、八王子市梅ノ木平国有林や隣接民有林を対象に植樹などの森林整備、そのフィールドや研修施設を活用した森林体験教育の実施である。主な活動は以下のとおり。①過密になっているスギ・ヒノキ人工林の間伐と被害木などの処理、②ギャップ地や間伐跡地への植樹、除伐、刈出しによる混交林化の促進、③小中学校や地域グループ、親子などを対象にした森林作業体験支援、④間伐材を利用した木製品の製作など。

### 事業成果

①刈出しや広葉樹の植樹を継続して実施したことでスギの人工林の混交林化が進んだ。②間伐・除伐などの作業を新規の森林で行ったことで、整備済み森林が拡大した。③親子などを対象にした14回の森林作業体験を実施し、森林理解の増進が図られた。④間伐材を活用して椅子、どんころな

どを製作して保育園に寄贈した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・5年生の授業として森林体験を行ったが、大自然の中での活動はみんなが協調的でした。 (小学校教諭)
- ・木材がどのように生産されるかを実践を通じて学ぶことができた。貴重な経験になったと思う。 (高校教諭)

### 参加者の声

- ・木を1本伐るだけでも重労働であることがよく分かった。 (男性参加者)
- ・除伐した跡の林が見違えるように明るくなり気持ち良かった。 (女性参加者)
- ・植えた木の成長を見にまた来たい。 (小学5年生)
- ・山を良くするためには木を伐ること、その木を使うことが大事だ。 (男性参加者)



林野庁親子会下刈り・補植作業体験



KDDI森林整備活動



広尾小学校植樹体験



定例作業除伐歩道作成

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.4ha  
 植付本数：340本  
 間伐面積：0.4ha  
 天然林施業・刈出し面積：  
 0.1ha  
 つる切り・除伐面積：1.6ha  
 歩道整備：1.0km  
 体験活動：14回

#### 参加者数

都内：821人  
 都外：115人  
 計：936人

#### 樹種

ホオノキ、カツラ、オニグルミ、トチノキ、ヤマグリほか

## 世田谷・川場上下流連携の森林活性化事業第Ⅳ期

群馬県川場村



### 事業概要

放置されている群馬県川場村内の人工林（針葉樹林＝スギ・ヒノキ林）を下流域の世田谷区住民が地元の地権者などの村民と協力して整備することを目的とする。主な活動は次のとおり。①地元住民と協力したボサ刈り・枝打ち・間伐、②植林後の低木育成のための下刈り、③間伐材を燃料に、近くにある広葉樹や竹林・松林の整備で発生するタケとマツを原料として炭焼きならびに地元で計画されているバイオマス利用への協力、④山間地散策路整備への材料提供作業協力などによる「循環型」の森づくりのサイクルの完成。

### 事業成果

前年度から新たな試みとして地元特産物のリンゴの植え

替えに伴う伐採木を炭焼き材として活用する試みや、地元の若手林業家を炭焼き作業に導き、共同作業を実施する活動が本格化した。くらぶの活動以外に地元での炭焼きが行われ、利用量は飛躍的に増大した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・ 荒廃している林業地の整備に力を貸していただいている。今後ともバイオプロジェクトへの積極的な関与ともどもお願いしたい。（川場村村長）

### 参加者の声

- ・ 炭焼きの勉強を通じて林業地の整備に前向きに取り組む気持ちが持てた。何より下流部の市民の方たちとの共同作業が楽しい。（川場村中野地区在住者）



間伐作業。伐倒方向を定める



間伐後の玉切り



下刈り



炭焼き開始

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

間伐本数：71本  
下刈面積：0.6ha  
間伐面積：1.8ha  
資源活用：炭焼き

##### 参加者数

計：96人

## AKIRUNO BASEプロジェクト

東京都あきる野市



## 事業概要

東京都あきる野市にある里山「AKIRUNO BASE」は「子ども自身が自由な発想で遊びを実現する場」をテーマに、当団体のボランティアスタッフがプロジェクトチームをつくり整備を進めてきた。「AKIRUNO BASE」周辺には、いまだ手つかずの森林が残っている。本事業では、①地域の森林を守ること、②子どもたちが日常生活では体験することのできない森林での活動、森林での遊びから自然との共生や重要性に気づき、里山保全や森林保全への具体的な行動を起こすことのできる人を育てること、③近隣の幼稚園・保育園、学校、近隣住民とともに里山保全や森林保全を行い、豊かな緑と水に恵まれた居場所を創ることを目的として、小学生を対象としたキャンプ活動、当法人ボランティアスタッフが行う森林整備を実施した。

## 事業成果

イベント開催時、保護者の方に提出していただくアンケート

ートにおいて、「AKIRUNO BASE」は、お子様にとって必要か、という質問に対し、「はい」と回答した保護者が100%であった。子どもの居場所として位置づくこと、定期的にイベントを開催する必要があると読み取れた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・近隣の幼稚園や学校などと連携をして、今よりもっと子どもたちの遊び場として活用したい。(40代地域住民)
- ・地域の方たちと連携して活動を進められる方法を模索したい。(70代地域住民)

## 参加者の声

- ・活動を通して里山がきれいになっていることが目に見えてわかる。子どもたちが楽しそうに遊んでくれているのがとてもうれしい。(20代女性、ボランティアスタッフ)
- ・毎日来たい！ 帰りたくない！(参加者の子ども)
- ・素晴らしい活動で、このような場所や機会を提供してくださってうれしい。また遊びに来させたい。(保護者)



「AKIRUNO BASE」活動場所



ボランティアスタッフによる森林整備



丸太切り体験



火起こし体験

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：0.4ha

間伐面積：0.4ha

その他：自然体験活動、森林整備

#### 参加者数

計：67人

## 「山の学校」～水が繋ぐ地域と世代～促進事業

山梨県道志村



## 事業概要

目的は、未来を担う次世代のために、森林が有する多面的機能の向上や地球温暖化防止対策、国土保全などへの具体的な行動の取り組み案として、「山の学校」を継続、開校することである。主な活動は、水源林保全を体験学習する宿泊型・日帰り型「山の学校」の開校。水源地保全学習をはじめ、間伐体験や上下流域の交流、川上地域食材の採集と調理体験などを実施。

## 事業成果

雨天時のメニューを体験した参加者が晴天時メニューへも参加を希望し、活動の浸透性を実感することができた。前回の参加者自らが植樹した木の成長過程を2回目の活動で確認できたことにより、身近に木の成長及び保全といったものを具体的に感じ取ることができたと思う。また、山へ興味を持っている様子を伺えたとともに、山の保全に関する意欲的な意見をいただくことができた。

## 事業をよく知る関係者の声

- ・水源となる民有林の現状を川下の方に知っていただく大切な機会。反省点としては、山にかかわりのない大人やお子さんの参加者にも伝わるように間伐作業と水との関係などを更に分かりやすく説明できると良い。安全確保にも気を配りつつ、山に入って木に触れていただき、森林整備作業の大変さ、木材の良さを知っていただき、木材活用につながると良いと思う。(川上のスタッフより)

## 参加者の声

- ・木を伐る作業が一筋縄でいかず驚いた。参加し、日々自分の身の回りのできる小さな保全活動を生活の中に意識的に取り入れて行きたいという気持ちになった。
- ・今回2回目の参加だった。前回に比べて子が山に興味をもって参加。自主性を見ることのできるイベントだと改めて思った。植樹した苗木が意外とまだ小さかったのを見て、ひとつの山になるまでの年月の重みを実感した。



手鋸で間伐体験



薪割り体験



植樹したスギ



木工体験

## 実績とりまとめ

## 作業内容

植付本数：4本  
森林資源活用：木工

## 参加者数

県内：21人  
計：21人

## 樹種

スギ

## 相模湖若者の森づくり、小手澤の森整備活動

神奈川県相模原市



### 事業概要

放置林を中高生が主体となって、間伐・枝打ちの森林整備作業を行う。さらに小金井市連携事業を受け入れ多様な参加者を獲得する。また、夏の体験学校で実施する流しそうめんに使用する竹林整備、早生樹であるセンダンを植樹するなど、小中高生が主体的に森林ESDに関わるフィールドを設定し、活動する。

### 事業成果

本会が活動するいくつかのフィールドの中で、軽トラックが入れる道が目の前にあり、間伐材活用のための搬出作業が最も簡単な場所に、中目木、大径木もあることが分かった。

### 事業をよく知る関係者の声

・高齢化によって地元の先輩方が始めた小手澤の維持が難しくなってしまったが、きれいにしていただき大変助かっている。若い皆さんが自然とふれあう場として活かされているのは地元住民の一人としてうれしい限りだ。これからもお願いしたい。(地主)

### 参加者の声

・小手澤の森に植えてあるセンダンの周りの草むしりをした。センダンは無事にすくすく育っていたし、成長が早い木なのでこれからは楽しみ。周りの草を取るのにはセンダンも取ってしまいそうで緊張したが、終わるとセンダンの成長を邪魔する草が無くなり、見栄えも良くなった。(参加中学2年男子)



センダンの植樹



夏休みの体験活動で竹林整備



相模原市の公民館事業で丸太ベンチ製作



東海大付属高輪台高校の森林実習で測量を実施

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：30本  
間伐本数：35本  
イベント：4回

#### 参加者数

県内：50人  
県外：290人  
計：340人

#### 樹種

センダン

## 持続可能な竹林整備と普及啓発活動

神奈川県横浜市、中井町



### 事業概要

担い手不足による放置竹林を解消するため、竹林の持続的な保全と活用を行った。主な活動は以下のとおり。①竹林の間伐と整備：(春) タケノコの間引きと保護、(夏) 若竹の育成と伐採、(秋から冬) 高齢竹の伐採、②間伐材の活用と普及啓発活動：竹林内で行う「竹灯籠祭り」の開催、タケノコの間引きと母竹育成のための「タケノコ掘り」イベントの実施、③保全活動の持続的担い手育成のための「竹の学校」の開催。

### 事業成果

中井町マダケ林で昨年につき2回目の「タケノコ」生育調査を実施。1,700本のタケノコが確認されたことで、表年と裏年の関係が確認でき、来年度から始める資源活用の目標が見えてきた。今年の「竹の学校」卒業生の中から数名の方が入会して今後も活動を継続してくれることになった。学

校、企業のタケの間伐体験活動の広がりが見えた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・ 普段の整備活動に感謝。今後予定する町の竹林再生事業にも協力してほしい。(地元自治体関係者)。
- ・ 過疎化の進む地方の放置竹林を解消するには地主さんに頼るには無理がある。都市部のボランティアに頼るのも無理な時代になってきた。タケ、タケノコ、竹林に付加価値を創出し、原価をカバーする仕組みとセットでなければ継続が困難。

### 参加者の声

- ・ いい汗かいて気持ち良い。(タケ伐り参加者)。
- ・ 夢中になりそう。(タケ伐り参加者)
- ・ 楽しかった。(タケノコ掘りに参加の子ども)
- ・ 感動した。(竹灯籠祭り入場者)



タケノコ保護育成活動 (中井町マダケ林)



タケの間伐材処理 (小机城址市民の森)



「竹の学校」の取り組みで垣根作り (小机城址市民の森)



竹灯籠祭り (横浜国際プール林浴の庭)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

竹林整備：83回  
竹灯籠祭り：2回  
タケノコ掘り：2回  
竹の学校：9回

#### 参加者数

県内： 914人  
県外： 91人  
計： 1,005人

## 山北町丸山地区森林整備事業

神奈川県山北町



### 事業概要

樹齢45年以上のカシ・ヒノキ・雑木林の森林生態系の維持・整備と森林整備の人材の育成を目的に、主な活動として、①不要木・枯木・実生木除去、枝下ろし、草刈りなど、②主に活動する学生の育成とSDGsの意識展開を実施した。

### 事業成果

活動地は学生の学びの場で1年生から3年間森林整備の基本をマスターする場所。12月に2年生に引き継がれ、2024年から日大サークル「森友」が行うことになった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・新型コロナウイルスの感染拡大時は当団体森林整備隊が活動した。隊員は森林整備活動のベテランで学生への指導も積極的に指導したが、学生が不参加により基本をマスターすることができず、中途半端になるのが残念。

### 参加者の声

- ・学生へ指導を行っている自分も気付かない発見があり勉強になる。
- ・この体験が就職活動の問答に役立ち参考になっているとも聞いている。
- ・古参者として外気に触れる良い機会を楽しみにしている。



法面の下刈り



枝下ろし



フェンスのつる切り



チェーンソー組み立て・実技指導

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

下刈面積：1.2ha  
 除伐面積：0.3ha  
 間伐面積：0.3ha  
 講習会（刈払い機、チェーンソー）：各1回

##### 参加者数

県内：45人  
 県外：37人  
 計：82人

## 親子が安心して遊べる「フーのきの森」整備事業

新潟県魚沼市



### 事業概要

訪れた親子が安心して遊べ、自然の大切さや動植物の生態系について学べる「フーのきの森」の環境づくりと認知度の向上、また、持続可能な森整備をスタッフ自らで行えるようになることを目的とする。主な活動は、(同)杜の学校の自然再生医の指導の下、①森の環境見立て、②大地の再生講座、③実際の作業を通してのワークショップを、絵本の家ゆきぼうしスタッフと参加者と共に行った。

### 事業成果

森の現在の状況と、整備の仕方を、講師の先生から教えていただいたことで、今後の森の整備の方向性を定めることができた。また、大地の再生に興味がある新潟県内の多くの方が参加してくださり、今後の協力者や、相談できるネットワークが広がった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・外来種への対応など具体的なアドバイスもいただけて、大変勉強になった。(30代 魚沼市公園管理者)
- ・今回学んだ風の草刈りや水脈つくりを、ぜひ公園管理に取り入れていきたい。(40代 柏崎市公園管理者)

### 参加者の声

- ・あっという間の2日間だったが、目からウロコの連続だった。今までの草刈りの概念が覆された。ぜひ今回学んだことを、今後のフーのきの森の整備に役立てたい。(70代男性、ゆきぼうしスタッフ)
- ・“大地の再生”という言葉では収まりきれない深い内容だった。スタッフの皆さんの思いや参加された方から聞く、フーのきの森の創設者のおじさんへの思いにも胸が熱くなった。この講座に参加できたことは私の宝物としてこれからも大切にしたい。(40代女性、参加者)



点穴作業



水脈解説



タケ処理作業



風の草刈り説明

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：1.0ha  
 除伐面積：0.5ha  
 その他：大地の再生講座、森の整備ワークショップ

#### 参加者数

県内：47人  
 県外：2人  
 計：49人

## ヒノキ金池東シデコブシ群落再生保全活動

愛知県春日井市



### 事業概要

環境省準絶滅危惧種指定シデコブシの枯死寸前の群落が春日井市西尾町地内にあり、本格調査と再生、保全活動を行い、将来天然記念物指定を目指す。そして、西尾町シデコブシ群落守る会以外に、行政、企業、学生、市民と協働して活動をする。主な活動は、①入林のための歩道、自生地の柵設置、②除伐前の自生シデコブシ数調査、個体番号付け、③シデコブシ自生地の除伐と整備、④令和6年6月時点の自生シデコブシ数（新芽を含む）調査。

### 事業成果

枯死寸前の自生シデコブシ60本ほど（まだ見落としの可能性有り）を発見再生の環境をつくれた。行政（県有林事務所）が自生地一帯の森林を「うつつの森」と名付け、協定を結び入山、活動ができるようになり、技術のいる作業などを支援してくれた。企業、学生がたくさん協働してくれ、ま

た、寄付の支援により活動が実施できた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・斜面に生育するシデコブシ群落は若い群落のため、どのようにして成立したかについて遺伝子解析などを行い、調査する必要がある。特に、近隣のシデコブシ群落との遺伝的關係を明らかにする必要があると思われる。また、日当たりの良い環境を維持するための作業も必要である。（国立大学法人愛知教育大学教授）

### 参加者の声

- ・人間の開発から生き残ったシデコブシ。ぜひ再生保全をしなくてはならない。（銀行支店長）
- ・いろいろ勉強になった。（企業の営業課長）
- ・除伐作業がきつかった。（大学生）
- ・これからが大変だ。（大学生）



下刈り



除伐



シデコブシ群落の調査番号付け



柵作り

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：0.2ha  
 除伐面積：0.4ha  
 大径木伐採：5本  
 調査番号付け：144本  
 歩道整備：200m  
 通路・階段整備：160m  
 柵作り：320m  
 看板設置：3枚  
 シデコブシ講演会：1回  
 講習会：1回  
 秋の里山フェア：2日  
 みどりフェスティバル：2日間

#### 参加者数

県内：618人  
 計：618人

## 猿投山北西山麓の環境林整備

愛知県瀬戸市山路町、白坂町



### 事業概要

猿投山北西山麓において、健全で活力ある人工林の育成と環境林としての機能を向上させることを目的とする。活動は、①「県有林やまじの森」「日本山岳会所有地」「東大演習林」において放置された人工林の間伐を行う。②雑木林では定期的に除伐し、保健保安林として機能維持させる。③自然観察道の笹刈り・除伐・道路保全を行い、近隣住民・ハイカー・登山者に「愛される森」となるよう整備する。④せと環境塾・なごや環境大学において一般応募者に森の手入れを体験してもらい、森の機能について学び、併せて「SDGs」についての教育を行う。

### 事業成果

不定期開催であった「わいがや講座」を4回開催でき、植物・生物・自然環境や人工林の手入れ、最新技術など学んでもらえた。不参加だった会員には、内容を会報に掲載し

情報共有を図った。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・森の手入れが進み感謝。(県有林事務所)
- ・「観察道がきれいに草刈りしてある」「植物の名前を教えてもらえる」など生物多様性のある森に整備している活動に対して言葉をいただいている。(瀬戸市環境課に届いた市民の声)
- ・人工林の間伐支援、森の整備が進みありがたい。継続を期待する。(東京大学生態水文学研究所)

### 参加者の声

- ・都会では感じられない「光や風・土や木の匂い」を感じることができた。リフレッシュでき、さらに子どもの「生き生き」とした姿を見ることができて、充実した時を過ごすことができた。次回の講座もまた参加したい。(「なごや環境大学」のイベントに参加の親子)



炭作りで窯詰め込み作業(せと環境塾)



土器を作ってみよう、素焼き作業(なごや環境大学)



県有林にて間伐作業



林道の丸太橋の架け替え作業

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

除伐面積：0.6ha  
 間伐面積：0.5ha  
 森林資源活用：ベンチ・シイタケ栽培・炭作り・木工材料等  
 イベント：せと環境塾「炭作り」、なごや環境大学「土器を作ってみよう」  
 自然観察道整備：2.3km  
 作業道整備：1.5km

#### 参加者数

計：763人

## 自伐型森林整備支援事業(その2)

愛知県豊橋市



### 事業概要

安全な森林整備方法の普及を目指して、昨年度導入した高強度で軽量の牽引伐倒用具を隊の活動（間伐や公園内の支障木伐採など）で本格的に活用しつつ、自ら森林整備を行っている各種ボランティア団体ならびにそれを目指す一般市民にこれらを展示・紹介・実演する。また、自己完結できる間伐材の利活用を目指してチェーンソー製材に取り組み、用具の使用方法習熟に努める。

### 事業成果

牽引伐倒システムの本格運用により、明らかになってきた課題や改善点の一つずつ検証し、仮説を立てて試行を繰り返すことで、より進化したシステムを構築する展望が開けてきた。また、これらシステムを展示・紹介することで各団体や一般市民に向けた安全啓発の活動をより充実させ

ることができた。また、チェーンソー製材による自己完結型の間伐材利用の方向性を定かにすることができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・豊橋市の森林整備・安全普及啓発活動、公園整備に協力いただき、感謝している。引き続き市との連携に期待している。

### 参加者の声

- ・チェーンソーを使った実技が参考になった。（森林間伐作業講座参加者）
- ・安全に作業されているのを見て、手抜きは絶対しない覚悟ができた。（森林間伐作業講座参加者）
- ・これほど安全に気を付けて作業するものとは知らなかった。（整備支援・安全啓発活動参加者）
- ・森林に親しむきっかけとなった。（啓発イベント参加者）



豊橋市内民有林の間伐実施



チェーンソー製材準備・実施



製材・木工体験



森林間伐作業講座

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

間伐：0.3ha  
森林資源活用：製材ほか  
支障木伐採：20回

#### 参加者数

県内：190人  
計：190人

## 常滑高坂野営場森林整備事業

愛知県常滑市



### 事業概要

野営場内の森林が鬱蒼としているため、明るい開放的な野営場とすることを目的とし、3年計画で森林整備を進める。整備終了後は、地域市民を交えた交流や、将来的には新城市で行っているみどりの少年団、ガールスカウトとの交流「どんぐり交流会」を実施していく。新城市は愛知東部地域、常滑市は愛知西部地域として活動の場を拡充していく。

### 事業成果

3か年計画の初年度で、完成後の活用など意見の広がりがあった。愛知県には野営場が2か所あり、西・東と地域

を分け活動の拠点ができる期待がある。自然のすばらしさを体験できる、最高の場をつくりたい。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・正直、全体像が見えにくい。ただ、1年目が終了して楽しみな感じがある。
- ・思い思いの作業で進んでいるように見えたので、統一した指導が必要である。

### 参加者の声

- ・明るくなった森林は気持ちが良い。
- ・片付けだけの参加だったが、満足感がある。
- ・3年後が楽しみである。ここで活動がしたい。



除伐作業説明



除伐作業



荷車で除伐木を運び出す



除伐完了後の林内

#### 実績とりまとめ

**作業内容**  
除伐面積：0.3ha

**参加者数**  
県内：74人  
計：74人

## 明日を拓く、森の再生を目指して

長野県飯田市、愛知県安城市、新城市



### 事業概要

目的は、自然環境を守ることの必要性を参加者が学ぶことで、自分に何が出来るかを考え、実行しようとする意識を持てるようにする。主な活動は以下のとおり。①長野県のガールスカウトと自然を守ることの必要性を知る交流キャンプ、②DVD『地球の復元に向けて』の上映会を行い、地域の人への環境保全の啓発、③「わたしたちにもできる環境保全活動とは何か」の意見交換会、④間伐材の利活用で地域の人へクラフト（木工）のワークショップを提供、⑤地域の人を対象に、里山の整備（歩道の整備や広葉樹の植樹、下刈り）。

### 事業成果

参加者は小中高校生から成人まで幅広い年齢層で、次代



あいcamp登山（飯田市）



「SDGsフェスタinあんじょう」で間伐材の利活用のワークショップ（安城市）



森林整備丸太橋製作（里山の森づくり／新城市）



植樹（里山の森づくり／新城市）

を担う若い世代も成人もみんなが「自然を守っていくこと」を自分のこととして捉える機会になった。また、環境保全活動に取り組む団体とのネットワークができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・近年、気候変動や動植物の絶滅が進行し、人の暮らしを支えてきた自然からの恩恵が失われようとしている。森を再生する意義を知ることのできる機会となった。（環境アドバイザー）
- ・間伐材のワークショップは子どもたちが楽しみながら自然のもので創造力を養うことができている。（市生涯学習課職員）

### 参加者の声

- ・自然を守っていこうという気持ちを子どものころから身につけてほしいので、この事業に参加させたかった。（60代保育士）
- ・小さいころ、おばあちゃんのうちで薪で食事の支度をしていたことを思い出す。里山体験はとても豊かな気持ちになれた。（男子高校生）

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：4本  
下刈面積：0.01ha  
間伐面積：0.02ha  
森林資源活用：2回  
森林キャンプ：2回  
クラフト体験：2回  
森林学習：5回

#### 参加者数

県内：275人  
県外：23人  
計：298人

#### 樹種

クヌギ

## 名張市赤目地域竹林整備・活用

三重県名張市



### 事業概要

目的は荒廃竹林による悪影響から動植物や景観を守り、健全な里山づくりを行うこと。主な活動は、伐採した竹材を商品加工し、地域の産業の発展に活用する。

### 事業成果

荒廃した森林、竹林により景観の悪化と沿道の見通しの悪さが課題となっていたが、下刈りと伐採を行ったことにより、見通しも改善し交通安全にも寄与することができた。また、伐採した木材、竹材は再利用を積極的に行うことで、新しい価値を見出し、参加者の視野も広がった。作業内容に応じて適宜、外部業者にも来てもらうことで安全面を徹

底するとともに、会員の安全面の意識向上と知識を伝授してもらうことにより技術向上につながった。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・山林所有者であり地域代表として、この度の団体の活動で今まで懸念してきた事案（タケ、木の肥大化による弊害など）が解決され本当にありがたく感じている。

### 参加者の声

- ・いつも参加されている方に誘われ活動した。地域の人に「良くしてくれている」「きれいになった」など声をかけていただき、それがうれしく複数回参加することができた。また、機会があれば参加したい。自分の住む地域でも広げていければと思う。



伐採後、サクラ、ウメなどを植樹



裾刈り部分の延長刈りを予定

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

下刈面積：0.05ha  
 除伐面積：0.25ha  
 間伐面積：0.25ha  
 フィールドワーク：2回  
 ワークショップ：10回  
 森林竹林整備：5回  
 食品加工：3回

#### 参加者数

県内：288人  
 県外：72人  
 計：360人

## 里山整備で人を呼び過疎地域の活性化を図る

京都府木津川市



### 事業概要

目的は、過疎と高齢化で荒れてしまった里山を会で買い取って整備し、景観や環境保全とともに地域の活性化を目指すことである。主な活動は以下のとおり。①スギなどの成長を阻害するタケの伐採と下刈り（つる切りを含む）、②形質不良木の伐採、過密箇所の間伐と材の利用（路肩の崩落防止柵などに利用）、③景観保持のために遊歩道などへの植栽、④伐ったタケなどでの遊具づくり、⑤近隣市町村からのイベント参加者への森林環境学習会。

### 事業成果

今年度も、さらに作業道を延長し整備を進めた。森林組



里山整備前の林内確認



タケが侵入したスギ林



作業道整備中



作業道整備完了

合からも応援を頼んで安全教育にも力を入れた。参加者は細い枝のカットから体験し、次の作業につなげることができた。遊具をつくったことでイベント参加者が増え、森林環境学習の場としても認知され、参加者の広がりの可能性を確認できた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・お陰で景観も良くなり、村から村への散歩が可能になった。(地元住民多数)
- ・荒れ果てていた山に入れるようになり、有害鳥獣の出没も緩和された。(京都府職員)

### 参加者の声

- ・荒れてどうしようもないと思っていたが、作業道を付けると整備ができることが分かった。(元地権者60代)
- ・荒れていても皆でするときれいにできることを学んだ。(参加者30代男性)
- ・自然とふれあえる機会に大変良い。(子ども連れ50代男性)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付本数：10本  
下刈面積：1.1ha  
除伐面積：0.1ha  
間伐面積：0.5ha  
作業道：200m  
遊具製作：2基  
イベント実施：9回  
研修会実施：3回

#### 参加者数

府内：266人  
府外：150人  
計：416人

#### 樹種

サクラ

## ゆめみヶ丘岸和田竹林整備事業

大阪府岸和田市



### 事業概要

目的は、里山の維持管理とソフト面の取り組みが受け継がれるようタケの資源活用を目指し、集った個人、団体、企業がゆめみヶ丘の荒廃竹林において取り組みを連携した活動を行う。主な活動は以下のとおり。①関係機関との連携・調整を行い、相互情報共有を図り荒廃竹林の適正管理を行う、②生物の多様性に富む森を創造する、③事業場所にて活動を通して広がった人の輪と、地域の人々が共に活動する場として、年1回開催を目指す「竹まつり」を企画運営し、連携する機会を継続的に創造する。

### 事業成果

「竹の和」のメンバーである(株)アワーズが、自社のバンブーアート企画のため、ゆめみヶ丘のタケを利用してもらったことで林床整理することができた。第2回竹まつり開催

準備の際に、「竹の和」の活動が継続的になり、竹林整備が進んだ。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・荒廃竹林の伐採が進み、里山活動における多様な利用方法が見出せるようになった。(近隣里山活動NPO法人理事長)
- ・フクロウの営巣を確認するなど、生態系にも好影響を与えている。(大学准教授)

### 参加者の声

- ・竹まつりに参加し、地元のタケを知ることができた。(30代男性)
- ・子どもが自然とふれあえる機会をつくれて良かった。(30代女性)
- ・雨で傾斜地が滑りやすく危なかった。(40代女性)



「竹まつり」の準備のため、階段を整備



クヌギ、コナラほか、計55種の苗木を植樹



竹林整備(委託作業)



メンマ作りに使用する幼竹を収穫

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.1ha  
 植付本数：340本  
 下刈面積：0.53ha  
 除伐面積：1.01ha  
 間伐面積：0.56ha  
 森林資源活用：タケチップ100㎡、バンブーアートへ竹材300本、山道の整備30本、収穫した幼竹をメンマとする取組50本

#### 参加者数

府内：199人  
 府外：11人  
 計：210人

#### 樹種

クヌギ、コナラほか

## 里山を伐って・使って・繋げる連続講座

兵庫県川西市



### 事業概要

持続可能な里山保全に向けて、里山に携わる関係人口を増やすことで、里山整備と併せて里山資源の利活用に取り組む人材育成を行うため、座学と野外実習を組み合わせた「森林整備」「里山資源利活用」講座を実施。

- ・「森林整備」全5回：①里山林の特徴・現状・保全について、②安全講習・森林整備について、③救命救急、④野生動物被害対策、⑤減災・防災の森づくり。
- ・「里山資源利活用」全6回：①生物多様性について、②森林資源利活用について、③グリーンウッドワーク、④ジビエレザー皮なめし工場見学、⑤薪作り、⑥ジビエ料理。

### 事業成果

里山の「保全技術と知識」だけではなく、「資源利活用」までの体系的な学びや、暮らしの見直しについて考えていただくきっかけを提供でき、広義で里山関係人口を増やすことができた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・里山保全に関する基本的知識やスキルの取得をはじめ、里山資源の利活用（用材から害獣対策によるジビエ利用まで）について幅広い講師陣を迎え、濃い内容であった。修了後の受講者からも高い評価を得たようだ。スタッフには講師陣との調整など苦労があったと思うが、彼らの努力と熱意を感じた。（ボランティアクラブリーダー）

### 参加者の声

- ・地元の自然環境を学びたく受講した。地域では人口減少の激しい地域もあり現実は厳しいが、里山の魅力を知ってもらえれば現状が変わるかもしれないと思っている。この度の学びをこれからの人生に活かしていきたい。（参加者20代）
- ・川上から川下まで学べた。木に関わる仕事をしているのに知らないことが多いと思った。受講料が安すぎると思った。（参加者30代）



広葉樹除間伐の実習



木の値段のつけかたについての座学



薪作りの実習



ジビエ料理の調理実習

#### 実績とりまとめ

##### 作業内容

「里山を伐って・使って・繋げる連続講座～ゆめほたる里山学校」講座：11回

##### 参加者数

計：19人

## 多国籍 & 学生と共に挑む森林里山循環 SDGs

兵庫県神戸市北区



### 事業概要

自然・国際教育に興味のある国内外の学生・若者を対象に、日本人と外国人が一緒になって新たなSDGsプログラムとして、植樹や間伐、間伐材の有効活用などの体験コースを実施し、若者を育みながら地域の森林・里山の整備・復元に取り組む。主な活動は、①植樹、苗木の手入れ、下刈り、②中低木の間伐と薪作り、③竹林の整備、間伐材の有効活用、④環境教育を含む現場でのSDGs教育、⑤チェーンソー、刈払機・薪割り機・電ノコ・ドリル・無煙炭化器などの取扱い指導とその活用。

### 事業成果

新たな仲間を増やししながら植樹や里山・森林保全に取り組むことができた。大沢エリアでは、休耕地を整備してオリーブを植樹。また、インターナショナルスクール、大学や各国留学生、市若手職員などが、チェーンソーほか各種道具の使い方をマスターしながら里山保全に取り組めた。

### 事業をよく知る関係者の声

・Peace & Natureの活動にはいつも外国人が参加されており、子どもから年配の方の幅広い参加者が会話も楽しみながら笑顔で活動されているのが特徴だと感じている。学校のSDGs探究学習や大学生のインターンシップを積極的に受け入れて若い人たちを育成しながら食や環境に取り組んでいるPeace & Natureへの期待はますます大きくなっている。(協賛企業社長)

### 参加者の声

・グローバル化が進む社会において、このような共通の志を持った国内外の幅広い方々が互いに協力し、持続可能な地域社会を創り上げる仕組みを日本全国に広めていくことが大切であると感じた。(インターンシップ大学生)

・里山で放置され問題になっているタケの伐採とSDGsとの関係が分かった。ノコギリでタケを切ったが、想像以上に切りやすかった。(SDGs探究学習参加の中学生)



休耕地へのオリーブ植樹のための地植え (SDGs探究学習)



29本のオリーブを植樹 (オリーブの植樹と里山保全活動)



マシンによるタケパウダー作り (オリーブの植樹と里山保全活動)



竹林の整備 (里山保全活動)

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：650㎡  
 植付本数：30本  
 樹勢回復：2.5ha  
 下刈面積：2.4ha  
 除伐面積：1.1ha  
 間伐面積：1.2ha  
 森林資源活用：174本

#### 参加者数

県内：426人  
 県外：84人  
 計：510人

#### 樹種

モミ、オリーブ

## 草刈り隊による森林、里山保全整備事業

兵庫県市川町、岡山県吉永町



### 事業概要

本団体の活動地域では家の後継ぎがいなく、森林や里山が荒れていく現状を解決することや、現在及び将来にわたって豊かな緑と水に恵まれた生活が維持することを目的とする。主な活動は、地域住民とともに結成した草刈り隊により森林、里山保全、草刈り、間伐、植樹を実施。また、岡山県にも遠征して保全整備事業を実施。

### 事業成果

草が繁茂し、放棄された棚田を4枚再生することができた。非常に大変な草刈りや整備も多かったが、普段、森林・里山とふれあう機会が少ない参加者が、棚田・里山を再生することで、整備することの大切さや日々の管理の重要性を学んだ。新しい女性の参加者も3名増えた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・息子も継がず、私の代で終わりだと思っていた棚田を、棚田LOVERSの皆さんが草刈り、再生、お祭りの会場として活用。おかげで、キャンプ地として引き継ぎ活かしていきたいという人が現れてくれ、とてもうれしく安心して任せられるようになった。(70代地域住民)
- ・棚田、里山の整備も非常に大事だが、水を入れてお米が育つようにするとさらに良いので、応援している。(60代地域の自治会長)

### 参加者の声

- ・人間活動によって世界中で生物が居場所を失っている。棚田の保全を通して生物の住み良い環境を守ることができる。多くの人が棚田のイベントを楽しんで、地球環境に関心を持っていただけることを願っている。(寄付者)



念入りに事前打ち合わせ、整備計画策定、地域との交渉を実施



何年も管理放棄された里山の草刈り



子どもと一緒に草刈り



岡山や大阪からも草刈り隊が集まり里山整備

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

植付面積：0.05ha  
 植付本数：10本  
 下刈面積：0.5ha  
 間伐面積：0.05ha

#### 参加者数

県内：95人  
 県外：62人  
 計：157人

## 養蜂から見える癒しの森里山再生活動

熊本県八代市



### 事業概要

目的は、地域の方にも積極的に参加してもらい、里山の美しい景観を次の世代に引き継ぐことである。主な活動は以下のとおり。①定期的な除草、除間伐作業と、安心して散策ができる森林空間づくり、②植樹を実施して里山の森林景観づくり、③シイタケ駒打ちとシイタケの収穫計画づくり、④除間伐した木材の再利用、⑤植樹した樹木を守るための獣害対策、⑥ミツバチ研修会を実施し、日本ミツバチを守り、住み良い環境づくりを学ぶ。

### 事業成果

植樹した樹木の獣害対策を強化できた。チェーンソーと草刈り機を購入することができ、森の中に光を取り入れるための除間伐作業を実施できた。除間伐した木の玉切りや除草作業が捗っている。今年度はシイタケ駒打ちに小学生が参加してくれ、里山体験を楽しんでくれた。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・樹木の獣害被害は思ったよりひどく、どこまで対策できるのか不安がある。(70代男性)
- ・除間伐・除草作業は人数が多い方が効率良くできるので、参加者が増えて欲しい。(60代男性)
- ・除間伐後、片づける作業は結構な重労働なので、若い方に参加して欲しい。(60代女性)

### 参加者の声

- ・私たちの里山の良さをもっと知ってほしい。(70代女性)
- ・チェーンソーの研修会に参加でき、使い方・安全対策について勉強になった。(50代男性)
- ・一輪車を押したり、スコップで穴掘りをしたり楽しかった。(女子小学生)
- ・シイタケ駒打ちは初めての経験で楽しかった。(男子小学生)



植樹



除間伐



防獣ネット張り



シイタケ駒打ち

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

- 植付面積：0.3ha
- 植付本数：20本
- 除伐本数：20本
- 間伐面積：0.3ha
- 除草作業：3.5ha
- 防獣ネット張り：1回
- チェーンソー、薪割り研修会、看板製作建立：1回
- 床掘り、施肥作業：1回
- シイタケ駒打：1回
- 植樹会：1回
- ミツバチ研修会：1回
- その他：獣害保護、ミツバチ見学、エビネラン観賞

#### 参加者数

- 県内：87人
- 計：87人

#### 樹種

ソメイヨシノ、イロハモミジ

## 間伐と薪割体験を通じた森づくりワークショップ

熊本県南阿蘇村



### 事業概要

目的は、林業体験を通じて、森林整備・保全が災害に強い森づくりにつながることで、未利用の森林資源としての薪の活用が地球温暖化防止につながることへの理解と関心を持ってもらうことである。活動内容は、親子向け林業体験ワークショップを4回実施。地元の林業関係者を講師として招き、災害に強い森づくりや森林保全の重要性に関する講話、立木の伐採実演と間伐材搬出の見学、チェーンソー体験や薪割り体験と安全講習を行った。

### 事業成果

ワークショップの参加者数は110名と目標を10名超え、そのうち初参加の方が4割と裾野を広げられている。66名のアンケート回答者のうち、97%の方が「森林整備をすることが災害に強い森づくりにつながることを理解できた」、89%の方がワークショップの内容に「満足した」と回答した。

### 事業をよく知る関係者の声

- ・道路際の伐採作業では、近隣ホテルにアナウンスし、歩道に「作業中」の看板を立て、立ち入り規制を行い、通行人の安全を確保した。(伐採委託事業者)
- ・ワークショップ会場からトイレまで距離があったため、参加者が困らないよう仮設トイレを設置した。(当日運営スタッフ)

### 参加者の声

- ・林業に関わる方の実体験に基づいた話が面白かった。
- ・カーボンニュートラルの観点からも森林の適切な管理が必要だと分かった。
- ・間伐や伐倒により土砂の流れを予防することが理解できた。
- ・林業の大切さや林業従事者の育成が必要ということが分かった。



チェーンソーを使った玉切り体験



チェーンソーの使い方講習



電動丸ノコを使ったコースター作り



薪割り体験

### 実績とりまとめ

#### 作業内容

除伐面積：20ha  
 間伐面積：20ha  
 暖談の会（森づくりワークショップ）：4回

#### 参加者数

県内：131人  
 県外：7人  
 計：138人